

山梨県笛吹市

一の沢遺跡（5次）

笛吹市境川地区浄・配水場建設工事
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2013
笛吹市
笛吹市教育委員会

序

本書は平成20年度に実施された笛吹市境川町小黒坂地区で発掘調査を実施した一の沢遺跡(5次)の発掘調査報告書です。

一の沢遺跡では縄文時代前期末から中期にかけての集落跡が確認されました。この調査によって、甲府盆地南東縁の丘陵裾部に展開する縄文時代前期末から中期にかけての集落資料を収集することができたことは、大きな成果であったといえます。

御坂山地北西の丘陵や扇状地には旧石器時代から近世(江戸時代)にかけての遺跡が多く点在しています。笛吹市では、『甲斐国千年の都』として、岡・銚子塚や竜塚などの前期古墳、姥塚などの後期古墳、甲斐の国府推定地として知られる春日居町国府や御坂町国衙、県下最古の寺院である寺本庵寺跡、甲斐国分寺跡や国分尼寺跡などの官営寺院などを広く紹介してきました。

一方で豊富な資料を有する縄文時代中期を中心とした遺跡に注目した歴史フォーラムの開催や冊子の刊行、ガイドマップ類の作成に力を入れてまいりました。本遺跡についての報告書の刊行により、この取り組みがより厚みを増してきたのではないかと考えております。

この発掘調査報告書刊行にあたり、ご指導ご協力を賜りました山梨県教育委員会はじめ関係諸機関、発掘調査においてご不便をおかけいたしました地権者各位、寒い中発掘調査に参加いたきました作業員各位に深く感謝申し上げ、この発掘調査報告書の刊行の序文に代えさせていただきます。

平成25年3月

笛吹市教育委員会
教育長 坂本誠二郎

例　　言

1. 本書は、山梨県笛吹市境川町小黒坂地内に所在する一の沢遺跡の発掘調査報告書である。
2. 本調査は、笛吹市境川地区洋・配水場建設工事に伴うものであり、笛吹市(公営企業部)からの委託を受け、発掘調査・整理作業・報告書作成を笛吹市教育委員会が行った。
3. 発掘調査は、2009(平成21)年1月13日から着手し、2009(平成21)年3月27日まで行った。
4. 本報告書の編集及び執筆は、望月和幸が行った。
5. 本書が掲載した写真撮影は、遺構を望月和幸、溝内淳介が、遺物を望月和幸が行った。
6. 本報告書に係る出土品および記録図面・写真などは一括して笛吹市教育委員会に保管してある。
7. 発掘調査・報告書作成に際し、下記の方々からご協力、ご教示を頂いた。記して感謝の意を表したい。

山梨県立博物館・山梨県立考古博物館・山梨県埋蔵文化財センター・財團法人山梨文化財研究所 (順不同・敬称略)

調　　査　組　織

調査組織調査事務局

山田　武人（前　笛吹市教育委員会教育長）
坂本誠二郎（現　笛吹市教育委員会教育長）
早川　哲大（前　笛吹市教育委員会教育次長）
仲澤　和朗（現　笛吹市教育委員会教育部長）
中山　孝仁（前　笛吹市教育委員会文化財課長）
小瀬　忠秋（現　笛吹市教育委員会文化財課長）
伊藤　修二（前　笛吹市教育委員会文化財調査担当リーダー）
内川　裕一（現　笛吹市教育委員会文化財調査担当リーダー）
猪股　喜彦（現　笛吹市教育委員会文化財課リーダー）

調査担当者

望月　和幸（笛吹市教育委員会文化財課）
溝内　淳介（笛吹市教育委員会文化財課臨時職員＝調査時）

発掘調査作業員

荒川奈津江　荒川公子　名取静　宮川菊江　芦沢津屋子　大須賀喜代子　宇佐美常春　志茂暉　野沢きみ江　佐野和美　神宮寺きよみ　神澤時子　鈴木幸子

室内整理作業員

高野眞寿美　藤原さつき　藤巻淑子　角田万紀　長塚浩美

凡　　例

1. 遺構番号は、原則として発見順に付している。
2. 掲載遺構図の縮尺は原則として以下の通りである。遺構全体図は、拡大図ごとに示した。
住居跡・溝(古墳周溝含む)・豊穴遺構 1/60
3. 掲載遺物図・拓本の縮尺は原則上器・陶器1/3、石器2/3、1/2、土偶・土製品1/2である。
4. 遺構断面図面の数値は、標高を示す。
5. 表内の()内の数値は推定値である。

第I章 調査の経緯と概要

一の沢遺跡は、これまでに山梨県教育委員会、境川村教育委員会（現笛吹市）により4回の発掘調査が実施され、縄文時代中期を中心とした集落遺跡であることが確認されている。また、付近には古墳時代後期の群集墳が広がることも確認されている。

これまでの4次にわたる調査で縄文時代前期後葉の竪穴式住居跡5軒、縄文時代中期中葉の竪穴式住居跡9軒、同中期後葉竪穴式住居跡12軒、中期後葉の敷石住居跡1軒、縄文時代後期前葉の敷石住居跡1軒、縄文時代中期を中心とする土坑100基以上が確認され調査してきた。また、古墳も5基、平安時代以降の住居跡2軒が確認されている。

一の沢遺跡は二つの集落から形成されており、それぞれが直径100m程度の環状集落であると考えられている。山梨県教育委員会によって実施された一の沢西遺跡（二次調査）の4号住居跡出土の一括資料は井戸戸型式期のバリエーション豊富な土器群として知られている。

平成20年度、笛吹市より境川地区浄・配水場用地に関する埋蔵文化財の有無について照会が行われた。笛吹市教育委員会では遺跡地図と照合を行い、施工区全体が周知の埋蔵文化財保蔵地である一の沢遺跡内に位置している事を確認した。また現地踏破でも縄文時代を中心とする遺物の散在が確認された。試掘調査を実施し、遺構の深さ、密度等を確認した後、平成21年1月より発掘調査を実施した。尚、掘削による遺構破壊に至らない調査区西側部分については盛り土を施し、現状保存を行っている。

平成21年3月27日、調査を終了し、県教育委員会宛、終了報告を行っている。その後、平成21年度から24年度にかけて出土品整理、図面整理等を行った。

一の沢遺跡の本調査に関係する文化財保護法の諸手続は以下の通りである。

平成21年1月 文化財保護法第99条第1項による発掘調査の報告を山梨県教育委員会に提出

平成21年3月 文化財保護法第100条第2項による埋蔵文化財発見届を山梨県教育委員会に提出

笛吹警察署への通知を依頼発掘調査の終了報告を山梨県教育委員会に提出

第II章 位置と地理的歴史的環境

第1節 地理的環境

山梨県笛吹市は、甲府盆地の中央部やや東寄りに位置し、北部の秩父山地に続く山々及び東南部の御坂山地に連なる丘陵山岳地帯と、笛吹川とその支流に形成された扇状地及び沖積地帯である。

本遺跡のある笛吹市境川町は町の由来になった境川が町のほぼ中央を流れ、また孤川が町東側を流れ浅川に合流する。町の南部は甲府盆地南縁に位地する曾根丘陵の東端にある。曾根丘陵上には多くの遺跡が確認されており、境川町にも、一の沢遺跡、西原遺跡、京原遺跡等多くの遺跡が存在する。丘陵部からは茅沢川・間門川などの河川が低平地へ流れしており、これらの河川により丘陵は南北に分かれている。

一の沢遺跡は曾根丘陵の黒坂地区にあり、北側に孤川が流れている。孤川左岸には縄文時代集落遺跡や古墳時代後期の群集墳など多くの遺跡が広がっており、一带が良好な生活環境にあったことが伺える。一の沢遺跡からは甲府盆地を一望することが可能であり、背後には奥深い御坂山地を控えている。孤川水系の豊かな水利や御坂山地のもたらす恵みを背景に、一の沢遺跡は標点集落と成り得たと考えられている。

第2節 歴史的環境

笛吹市は、県内有数の遺跡集中域であり、多くの遺跡が周知されている。

境川町内の曾根丘陵は、肥沃な土壤の上に森林が豊かに生い茂り、動植物などの食糧を確保できたため縄文時代中期の集落形成が進み人口集中地帯になったものと考えられる。

一の沢遺跡は、過去4度の発掘調査と今回の発掘調査により、縄文時代前中期から中期を中心とした一帯の標点的集落で

あったことが確認してきた。周囲には西原遺跡、京原遺跡、金山遺跡、小黒坂遺跡群といった縄文時代遺跡が密集している。近年では、平成18年度に前間田地区において縄文時代中期曾利式期の仲原遺跡が確認されている。また、弥生時代後期～古墳時代前期の住居跡と低墳丘墓が諏訪尻遺跡などで確認されている。古墳は、後期古墳を中心に百基ほどの古墳が知られているが、そのほとんどが藤垈地区から八代町寄りの東側の地域に限定され、西寄りの寺尾地区ではあまり知られてはいない。

北原遺跡および近隣の馬場遺跡、前付遺跡の西側で、間門川を挟んで対峙する丘陵に、上の平遺跡(甲府市)がある。この上の平遺跡を中心とする甲斐風土記の丘公園一帯は、百数十基の方形周溝墓が確認された地域であり、近年東側の境川においても弥生時代後期～古墳時代前期の集落と方形周溝墓が揃って確認されはじめている。曾根丘陵平坦面の先端に、弥生時代後期～古墳時代前期の集落と方形周溝墓が構築されたものと考えられる。

第三章 調査の方法と層序

調査は区域を2つ(A区・B区)に分け、遺構密度の濃いA区から実施した。重機により表土を除去し、その後人力により遺構確認及び記録作成を行った。

グリッドは、任意の10m四方の大グリッドを設定後、それを2m四方の小グリッドに分割する形で設定した。

基本層所は、現地表面から耕作土、暗褐色土、ソフトロームの地山層と続く。遺構確認面はソフトローム上層とした。

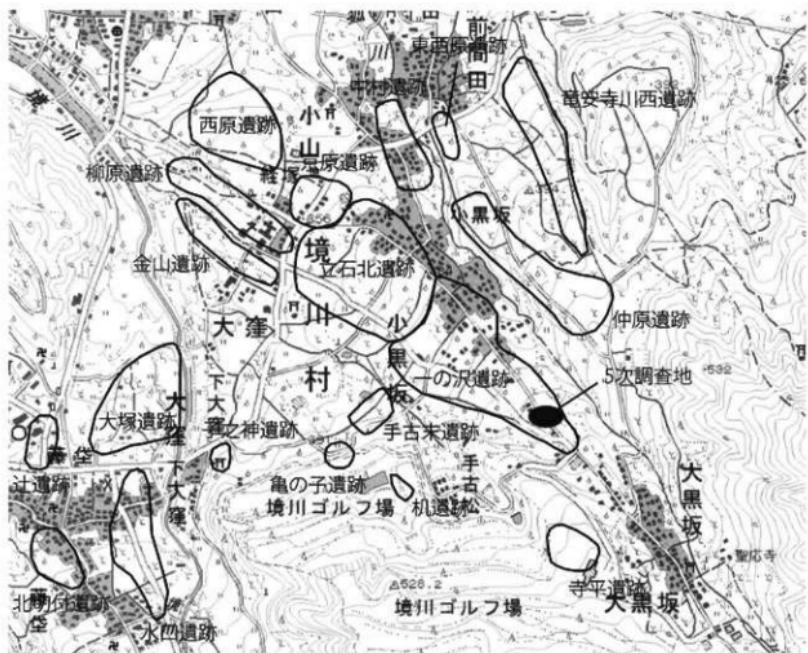


図-1 一の沢遺跡位置及び狹川流域における主な集落遺跡

第IV 確認された遺構と遺物

第1節 繩文時代

(1) 穴住居跡

本遺跡の縄文時代の住居跡は12軒確認されたが、調査区外に続くものもあり、全体を検出するに至らないものもある。

住居跡

◆第1号住居跡【第4図】

〔位置〕 調査区北東部、A-3グリッドに位置する。

〔形状〕 北半分が調査区外にあるため正確ではないが、ほぼ円形に近い形状と思われる。

〔規模〕 直径5.2mを測る。

〔覆土〕 喰褐色土が主体となるローム質土。炭化物、赤色スコリア、白色粒子を含む。

〔壁〕 最大壁高は0.25mでやや外側に広がり立ち上がる。

〔床〕 ほぼ平坦で所々搅乱されているが、貼り床の硬化面が全体的に確認できた。

〔炉〕 細長い石を用いた大振りな石圓い炉。中央にカリカリの焦土がたまる。

〔施設〕 ピット1は直径55cmの略円形、深さ65cmを測る。位置から柱穴と思われる。他の柱穴については搅乱や遺構外所化のため不明である。周溝は不明である。

〔遺物〕 縄文時代中期後半、曾利Ⅲ～IV式期に比定される土器が出土している。

〔時期〕 遺物、かの形状から縄文時代中期後半に位置づけられる。

◆第2号住居跡【第5図】

〔位置〕 B-3グリッドに位置する。

〔形状〕 楕円形を呈する。

〔規模〕 現在値は長径4.8m、短径4.4mを測る。

〔覆土〕 喰褐色土が主体で、壁付近には小ぶりの黄褐色土の三角堆積が見られる。カーボン、赤色スコリア、白色粒子混入。

〔壁〕 壁高は0.8mでやや外反して立ち上がる。

〔床〕 ほぼ平坦で貼り床とみられる硬化面が確認できた。

〔か〕 小ぶりな不正形の石を利用した石圓い炉。焼土は少なく、か石下面が黒化している。

〔施設〕 ピットが6ヶ所確認できた。P-1からP-4が柱穴と考えられる。

〔遺物〕 縄文時代中期前半に比定される縄文地文の土器片が出土している。

〔時期〕 小ぶりな炉と小片遺物から縄文時代中期前半に位置づけられよう。

◆第3号住居跡【第6図】

〔位置〕 C-3グリッドに位置する。

〔形状〕 円形を呈する。

〔規模〕 直径(3.7)mを測る。

〔覆土〕 褐色土が主体であり、褐色スコリア、ロームブロック、白色粒子を混入する。

〔壁〕 壁高は0.45mでやや外反して立ち上がる。

〔床〕 ほぼ平坦で貼り床とみられる硬化面が確認できた。

〔炉〕 中央付近にやや細長い石を7石用いた石圓い炉が確認された。

〔施設〕 柱穴と思われるピットが3ヶ所確認できた。

〔遺物〕 土錐、土偶脚部、曾利IV式期深鉢型土器。

〔時期〕 縄文時代中期後半、曾利IV式期に位置づけられよう。

◆第4号住居跡【第7図】

- 〔位置〕B-2グリッドに位置する。
- 〔形状〕住居跡西半分が調査区外側となるため不明だが、ほぼ円形を呈すると思われる。
- 〔規模〕直径約(6.0)mを測る。
- 〔覆土〕暗褐色土を基調とし、炭化物、褐色スコリア、白色粒子、ロームブロックを混入する。
- 〔壁〕最大壁高0.35mでやや外反する。
- 〔床〕平坦な貼り床が認められる。
- 〔炉〕調査区内において、明確なかは認められないが、調査区境のセクションベルト下層にて若干のカーボンの集中が認められる。
- 〔施設〕貼り床範囲に5箇所のピットが確認されている。P-2、3、4が深く、この3本が主柱穴になると思われる。また、周溝内ピット列が認められた。
- 〔遺物〕住居跡中央付近にて縄文時代中期後半、曾利Ⅲ～IV式期の土器片集中がみられた。また、黒耀石製の石鏃や大ぶりな石匙模造品が出土している。
- 〔時期〕縄文時代中期後半、曾利Ⅲ～IV式期に位置づけられよう。

◆第5号住居跡【第8図】

- 〔位置〕B-2、C-2グリッドに位置する。
- 〔形状〕一部擾乱により破壊されているが、円形に近い楕円形を呈すると思われる。
- 〔規模〕長軸4.8m、短軸(3.8)mを測る。
- 〔覆土〕暗褐色ローム質土を基調とし、褐色スコリア、白色粒子、ロームブロックを混入する。
- 〔壁〕最大壁高0.3mでやや外反する。
- 〔床〕平坦な貼り床が認められる。
- 〔炉〕調査区内において、明確なかは認められないが、調査区境のセクションベルト下層にて若干のカーボンの集中が認められる。
- 〔施設〕貼り床範囲に6箇所のピットが確認されている。P-1、2、3、6が深く、この4本が主柱穴になると思われる。土層断面観察によると、同ピットには幅0.2m程度の柱旗状の痕跡がみえる。周溝内ピット列は認められない。
- 〔遺物〕住居跡中央付近にて縄文時代中期後半、曾利Ⅲ～IV式期の土器片集中がみられた。
- 〔時期〕縄文時代中期後半、曾利Ⅲ～IV式期に位置づけられよう。

◆第6号住居跡【第9図】

- 〔位置〕A-2グリッドに位置する。
- 〔形状〕住居跡北が擾乱及び他の遺構との切り合いにより不明だが、楕円形を呈すると思われる。
- 〔規模〕長軸(4.7)m以上、短軸(4)m以上を測る。
- 〔覆土〕暗褐色ローム質土を基調とし、褐色スコリア、白色粒子を混入する。
- 〔壁〕最大壁高0.15mでやや外反する。
- 〔床〕擾乱が著しいが、平坦な貼り床が認められる。
- 〔炉〕擾乱により石が失われているが、本来は石団いかであろう。直径1.0mの円形の落ち込み内にカリカリの焼土が0.1mの厚さで堆積している様子が確認できた。
- 〔施設〕4箇所のピットが確認されている。P-1、3、4が深く、この3本が主柱穴になると思われる。また、周溝内ピット列は認められない。住居跡間に正位屋内埋甕が確認されている。埋甕の底部は設置後上から打ち抜かれたように穴が開き、埋甕下に割れた破片が認められた。

〔遺物〕住居跡隅にて縄文時代中期後半、曾利Ⅲ～IV式期の正位屋内埋甕が確認されている。

〔時期〕縄文時代中期後半、曾利Ⅲ～IV式期に位置づけられよう。

◆第7号住居跡【第10図】

〔位置〕A-2、B-2グリッドに位置する。4号住居に切られる。

〔形状〕切り合ひにより不明だが、円形または楕円形を呈する。

〔規模〕不明。

〔覆土〕暗褐色土を基調とする。

〔壁〕最大壁高0.1mでやや外反する。

〔床〕搅乱が著しいが、平坦な貼り床が認められる。

〔炉〕大振りで扁平な石を縦に用いた石圓い炉（炉-2）があり、その脇に石圓いを持たない焼土集中部が認められた。

尚、焼土集中部も土坑状に掘り込まれ、内部にカリカリ焼土がたまっていることから^ガ（炉-1）であると考えられる。

〔施設〕炉東に比較的深いピットが2箇所確認されているが、切り合ひが著しく、本住居に作つかは不明。

〔遺物〕床面において縄文時代中期後半、曾利IV式期の土器が出土している。

〔時期〕大振りな炉の形状、床面遺物から縄文時代中期後半、曾利IV式期に位置づけられよう。

◆第8号住居跡【第11図】

〔位置〕J-11グリッドに位置する。

〔形状〕やや歪んだ円形を呈する。

〔規模〕直径5.5mから6m。

〔覆土〕暗褐色土を基調とする。

〔壁〕最大壁高0.4mでやや外反する。

〔床〕平坦な貼り床が認められる。

〔ガ〕不明だが、住居中央東よりに被熱により割れたと思われる疊が認められる。

〔施設〕貼り床範囲に柱穴と思われる6箇所のピットが確認されている。

〔遺物〕床面において曾利I～II式期の土器が出土している。

〔時期〕縄文時代中期後半、曾利I～II式期に位置づけられよう。

◆第9号住居跡【第12図】

〔位置〕J-11グリッドに位置する。

〔形状〕北半分が調査区外にあるため不明。やや歪んだ円形または楕円形を呈するとと思われる。

〔規模〕現存部で直径5.6m。

〔覆土〕暗褐色土を基調とする。

〔壁〕最大壁高0.2mでやや外反する。

〔床〕著しく搅乱を受けるが、平坦な貼り床が認められる。

〔炉〕住居中央東よりに石圓い炉が認められる。

〔施設〕貼り床範囲に柱穴と思われる6箇所のピットが確認されている。

〔遺物〕床面において中期前半に比定される浅鉢や口縁部に粘土紐を貼り付けた縄文地文土器が出土している。

〔時期〕やや大振りな石圓い炉だが、遺物から、縄文時代中期前半に位置づけられよう。

◆第10号住居跡【第13図】

- 〔位置〕H-11グリッドに位置する。
- 〔形状〕住居跡北半分が調査区外側となるため不明だが、ほぼ円形を呈すると思われる。
- 〔規模〕現存部分において、直洋4.3m。
- 〔覆土〕暗褐色土を基層とする。
- 〔壁〕最大壁高0.4mでやや外反する。
- 〔床〕平坦な貼り床が認められる。
- 〔炉〕不明だが、伊石と思われる大振りな残が認められる。
- 〔施設〕貼り床範囲に6箇所のピットが確認されているが、その他は不明。
- 〔時期〕伊石の大きさから縄文時代中期後半に位置づけられよう。

◆第11号住居跡【第13図】

- 〔位置〕A-3グリッドに位置する。
- 〔形状〕住居跡北半分が調査区外側となり、調査区内西半分が削平されているため不明。
- 〔規模〕不明。
- 〔覆土〕暗褐色土を基層とする。
- 〔壁〕最大壁高0.1mでやや外反する。
- 〔床〕平坦な貼り床が認められるが西半分は失われている。
- 〔炉〕不明。
- 〔施設〕貼り床範囲に柱穴と思われる1箇所のピットが確認されているが、その他は不明。
- 〔遺物〕住居跡南東隅より、正位屋内埋甕が出土している。
- 〔時期〕埋甕から、縄文時代中期後半、曾利Ⅲ～IV式期に位置づけられよう。

◆第13号住居跡【第14図】

- 〔位置〕I-10グリッドに位置する。
- 〔形状〕住居跡北半分が調査区外側となり、東側を古墳周溝によって削平されているため不明。
- 〔規模〕不明。
- 〔覆土〕暗褐色土を基層とする。
- 〔壁〕最大壁高0.15mでやや外反する。
- 〔床〕平坦な貼り床が認められる。
- 〔炉〕不明。
- 〔施設〕貼り床範囲に柱穴と思われる3箇所のピットが確認されているが、その他は不明。
- 〔時期〕不明だが周囲の散布土器等から縄文時代中期に位置づけられよう。

古 墳

◆1号墳【第15図】

〔位置〕 I-10グリッドに位置する。

〔規模〕 東側周溝の外側立ち上がり以外は調査区外のため不明。周溝幅上場で4m以上、下場で3m以上。溝の深さ0.5m、外反して立ち上がる。

〔遺物〕 周溝内より須恵器大甕片が割られた状態で出土している。口縁の一部を除き復元可能。

〔時期〕 古墳時代後期に位置づけられる。

〔特記〕 狐川左岸には古墳時代後期の群集墳が認められる。本古墳はそのうちの1基であるが、主体部及びマウンドは既に失われている。尚、周溝内には崩落した列石の一部と思われる礫が認められる。周溝幅が広いことから比較的大型の後期古墳であると思われる。

上 坑

1区においては13基、2区において6基、計19基の土坑が確認されている。

◆1区土坑【第16図～17図】

1号、3号土坑は長軸1.5m、短軸1.05m程度の楕円形、壁は外反して立ち上がる。5号、6号、7号、8号、13号の各土坑は近接している。5号、6号、8号の各土坑は0.95mから1.2m程度の円形に近い形状で壁は外反する。底部は平坦ではない。6号土坑は長軸1.5m、短軸1.05mと1号、3号に近い形状である。13号土坑は1.45m×1.2mの円形に近い楕円形を呈し、底部は平坦でない。10号土坑は直径0.6m程の掘り方上に縄文時代中期後半の土器が潰れた状態で確認されている。一部で直に立つように覆土に刺された土器片が見られる。土坑の残存状況が悪く断定は出来ないが埋藏ではないかと想定される。11号土坑は長軸1.5m、短軸1m程度の楕円形を呈し、底部長軸中央にピット状の落ち込みがある。14号土坑は直径1m程度の円形を呈す。縄文時代中期前半の土器が集中している。

◆2区土坑【第18図】

20号土坑は直徑0.7mの円形を呈し、底部は概ね平坦である。22号、26号土坑は隣接し、それぞれ直徑0.8mの円形を呈する。26号土坑には縄文時代中期後半の土器片が見られる。壁も外反し、底部も概ね平坦である。25号土坑は直徑0.7mの円形を呈し、壁は外反する。底部は平坦でなく中央が深いピット状を呈する。27号土坑は長軸1.2m、短軸1mのやや扁平な円形を呈す。底部はほぼ平坦だが、長軸0.4m程の自然礫を含有する。また、底部にも地山層に含まれる礫が見られる。隣接の25号土坑にも長軸0.2m程度の礫が入り込むことから、土坑内礫は埋没過程での混入と思われる。24号土坑は直徑1.1mのやや扁平な円形を呈す。壁は外反し、25号、27号土坑同様に覆土内に礫を含有する。24号土坑には縄文時代中期前半の土器片がみられる。

◆1号埋甕【第18図】

直径1mの円形を呈する掘り方内に正位で直径0.3mの土器が収められている。土器はやや傾いた状況で収められている。埋甕としては小ぶりな部類であるが、周囲に柱穴が認められない点から屋外の埋甕と判断したい。縄文時代中期後半に位置づけられよう。

一の沢遺跡遺土坑観察票

遺構No	長軸×短軸×残存深さ(cm)	形 状	遺 物	備 考
1号土坑	150×105×60		長椭円形	
2号土坑	不明×85×25			6号住居跡内(6号住居跡より古)
3号土坑	150×105×50	長椭円形		
4号土坑	120×100×90	略円形		4号住居跡内
5号土坑	90×90×30	略円形		
6号土坑	150×105×80	長椭円形		
7号土坑	130×110×30	略円形		
8号土坑	100×80×35	略円形		
10号土坑	65×55×20	略円形	縄文中期後半	縄出土、土器片の一部が正位で出土
11号土坑	140×110×50	長椭円形		
12号土坑	150×不明×40以上			6号住居跡内(6号住居跡より古)
13号土坑	120以上×100以上×60			5号住居跡内、8号土坑に切られる
14号土坑	100×100×15	略円形	縄文中期前半	
20号土坑	80×80×15	略円形		
22号土坑	90×80×50			
24号土坑	105×105×55			
25号土坑	70×65×45			
26号土坑	100×75×40			
27号土坑	120×100×30			

一の沢遺跡石器観察表

番号	分類	遺構	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石材	備考
1	石鏟	3住	1.8	1.2	0.4	0.87	黒曜石	無茎、凹基
2	石鏟	3住	1.5	1.8	0.3	0.80	黒曜石	無茎、平基
3	石鏟	4住	(1.4)	1.8	0.3	0.63	黒曜石	無茎、平基
4	石鏟	5住	(1.65)	1.8	0.3	0.67	黒曜石	無茎、平基
5	石鏟	9住	2.4	2.0	0.3	0.80	黒曜石	無茎、凹基
6	石鏟	遺構外	(1.4)	1.0	0.4	0.57	黒曜石	無茎、凹基
7	石鏟	遺構外	2.3	2.1	1.9	2.94	黒曜石	無茎、平基
8	石鏟	遺構外	(1.9)	1.6	0.2	0.69	黒曜石	無茎、凹基
9	石鏟	5住	2.25	1.55	0.7	2.62	黒曜石	無茎、平基
10	石鏟	遺構外	1.7	1.7	0.7	1.92	黒曜石	無茎、平基
11	石鏟	3住	2.1	1.8	0.25	1.47	黒曜石	
12	石鏟	4住	1.7	1.7	0.15	1.17	黒曜石	
13	石鏟	5住	2.4	0.9	0.1	0.69	黒曜石	
14	石鏟	5住	(1.9)	1.2	0.08	0.60	黒曜石	
15	石鏟	5住	1.7	1.3	0.2	0.85	黒曜石	
16	石鏟	5住	2.4	0.8	0.1	0.62	黒曜石	
17	石鏟	8住	3.19	(2.65)	0.46	4.46	黒曜石	
18	石鏟	遺構外	2.3	1.1	0.5	1.80	黒曜石	
19	石鏟	9住	(3.5)	1.2	0.4	2.99	黒曜石	
20	石鏟	ピット4	(2.7)	2.8	0.1	3.51	黒曜石	
21	石鏟	遺構外	1.7	1.8	0.2	1.14	黒曜石	
22	石鏟	遺構外	(2.0)	1.9	0.2	1.79	黒曜石	
23	推器	4住	2.9	3.3	0.9	8.47	黒曜石	
24	推器	3住	1.5	1.9	0.3	1.10	黒曜石	
25	推器	5住	1.7	1.8	0.4	1.33	黒曜石	
26	推器	5住	1.6	1.9	0.4	1.20	黒曜石	
27	推器	8住	1.82	1.49	0.15	0.52	黒曜石	
28	推器	9住	1.4	2.1	0.4	1.12	黒曜石	
29	推器	遺構外	2.1	3.25	0.55	3.21	黒曜石	
30	推器	遺構外	1.2	2.6	0.6	2.86	黒曜石	
31	推器	遺構外	1.9	2.1	0.65	3.55	黒曜石	
32	複形石鏟	5住	2.3	1.0	0.4	1.17	黒曜石	
33	石匙	6住	2.8	1.8	0.4	2.65	黒曜石	複刃
34	石匙	4住	3.5	2.1	0.5	3.69	黒曜石	複刃
35	石匙	5住	2.2	1.7	0.3	0.88	黒曜石	複刃
36	石匙	遺構外	3.3	1.5	0.5	2.76	黒曜石	複刃
37	石匙	4住	6.27	6.3	1.15	36.13	黒曜石	複刃
38	石匙	遺構外	4.8	6.8	0.9	30.16	複刃	
39	石匙	遺構外	7.2	7.8	1.8	68.70	複刃	
40	石匙	遺構外	5.7	11.8	1.3	100.00	複刃	
41	打製石斧	21土坑	5.9	3.7	1.1	29.04		短柄形
42	打製石斧	3住	6.2	3.3	0.75	16.88		短柄形
43	打製石斧	3住	9.4	5.3	1.1	48.16		短柄形
44	打製石斧	5住	8.1	4.75	1.45	62.48		短柄形
45	打製石斧	15土坑	7.7	3.7	1.1	42.28		短柄形
46	打製石斧	遺構外	9.6	4.5	1.2	64.00		短柄形
47	打製石斧	遺構外	8.8	3.3	0.7	41.79		短柄形
48	打製石斧	遺構外	5.92	4.6	0.75	29.30		短柄形
49	打製石斧	遺構外	7.4	5.3	0.8	102.00		短柄形
50	打製石斧	遺構外	8.3	4.5	1.4	49.65		短柄形
51	打製石斧	遺構外	9.9	5.0	2.2	119.00		短柄形
52	打製石斧	遺構外	10.8	5.3	1.25	104.87		分瓣形
53	打製石斧	遺構外	8.8	4.1	1.3	72.86		短柄形
54	打製石斧	遺構外	7.4	3.8	1.2	49.13		短柄形
55	打製石斧	遺構外	7.7	4.45	1.2	49.76		短柄形
56	肩製石斧	6住	6.9	1.9	1.0	24.98		
57	肩製石斧	8住	6.6	4.45	2.8	138		
58	肩製石斧	遺構外	12.0	5.6	4.5	396		
59	肩製石斧	遺構外	11.1	5.4	3.0	284		
60	肩製石斧		19.0	6.7	4.6	838		
61	敲石	2住	17.1	6.15	3.9	495		
62	敲石	2住	17.0	6.7	3.6	628		
63	敲石	遺構外	15.6	4.7	3.7	463		
64	敲石	遺構外	13.1	6.3	5.8	770		
65	敲石	5住	11.3	8.9	6.2	872		
66	臼石	2住	11.0	6.9	3.8	354		
67	臼石	7住	11.9	6.9	3.7	495		
68	臼石	遺構外	10.2	6.9	4.3	330		
69	臼石	遺構外	12.5	5.0	4.6	500.6		
70	臼石	2住	12.4	7.85	4.65	641		
71	臼石	遺構外	9.8	8.75	4.2	804		
72	臼石	5住	8.72	8.2	3.8	424		
73	臼石	遺構外	(9.4)	8.6	5.5	664		
74	磨石	11住	8.1	4.3	3.5	183		
75	磨石	4住	13.6	5.5	4.7	563		
76	石皿	8住2区	21.7	12.0	7.5	2200		
77	石皿	遺構外	15.9	13.8	5.3	1740		

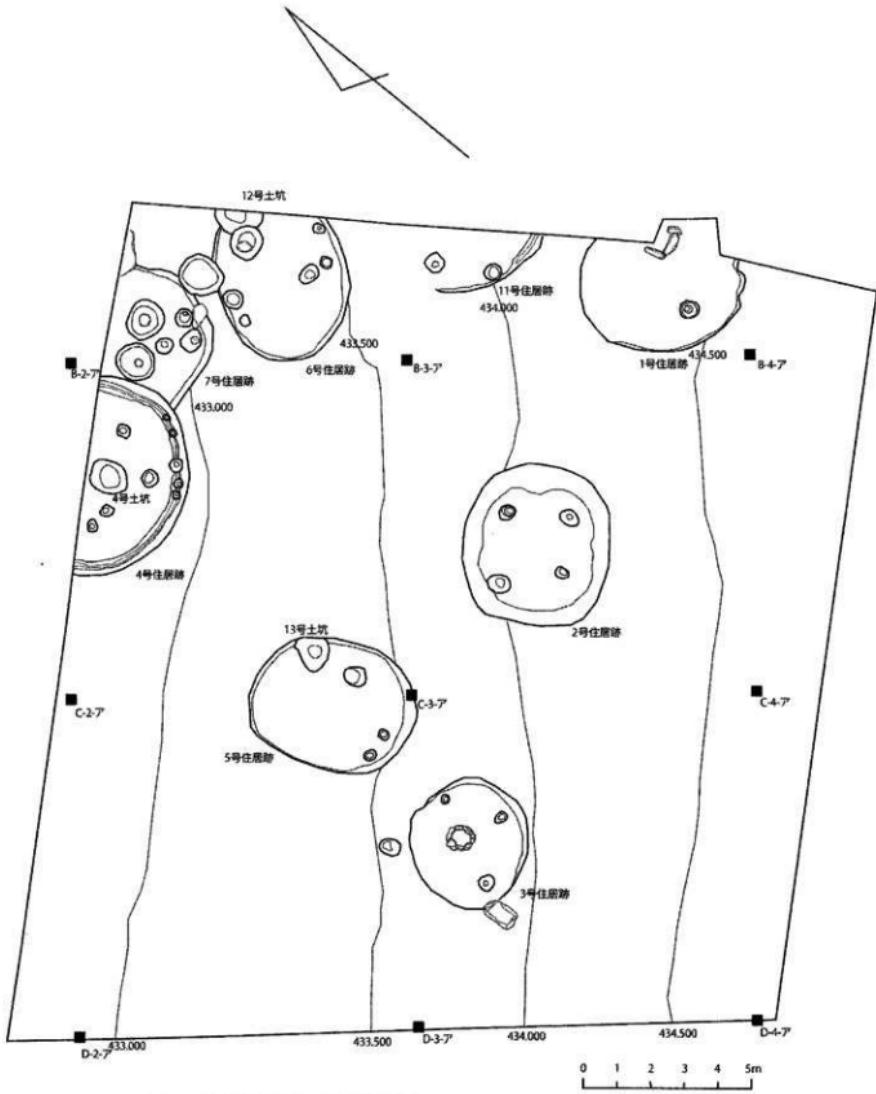


図-2 一の沢遺跡(5次) 1区遺構配置図

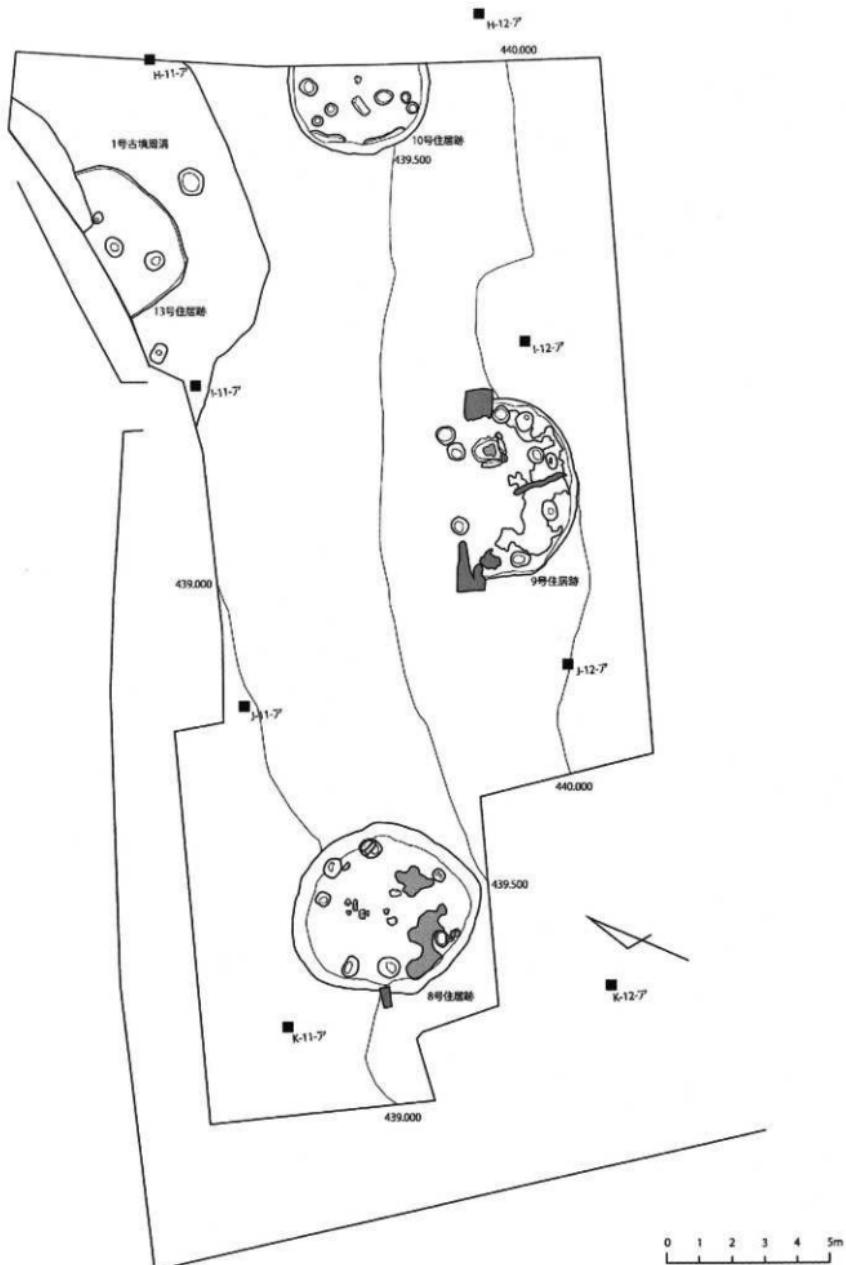


図-3 一の沢遺跡(5次) 2区遺構配置図

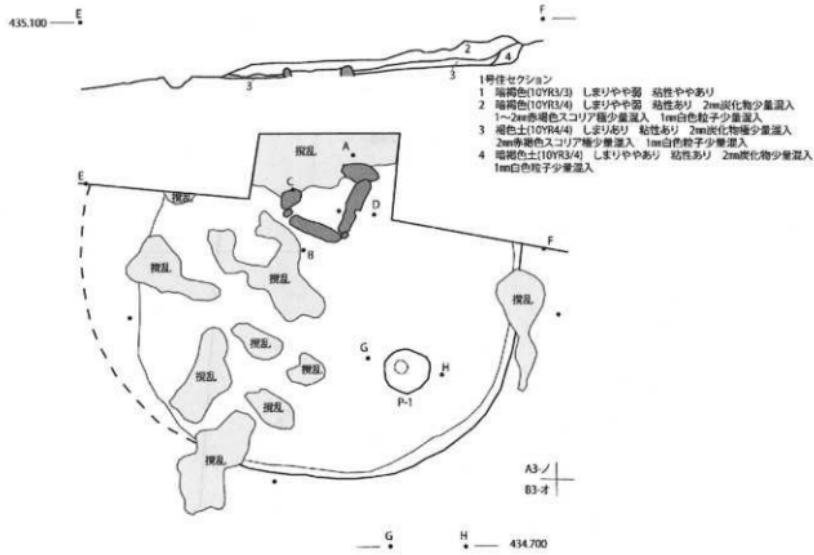


図-4(1) 1号住居 S=1/60

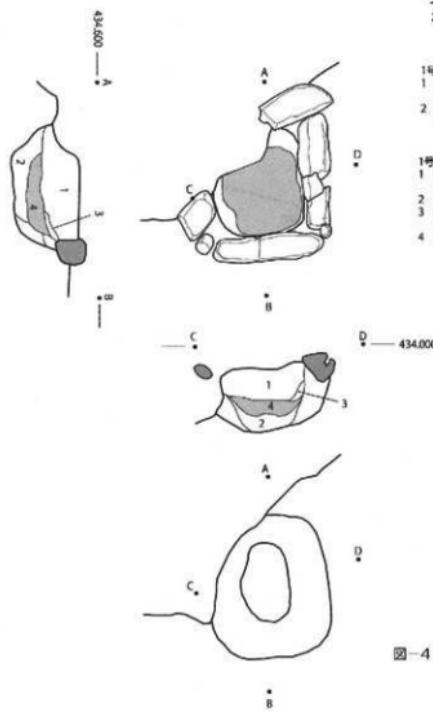
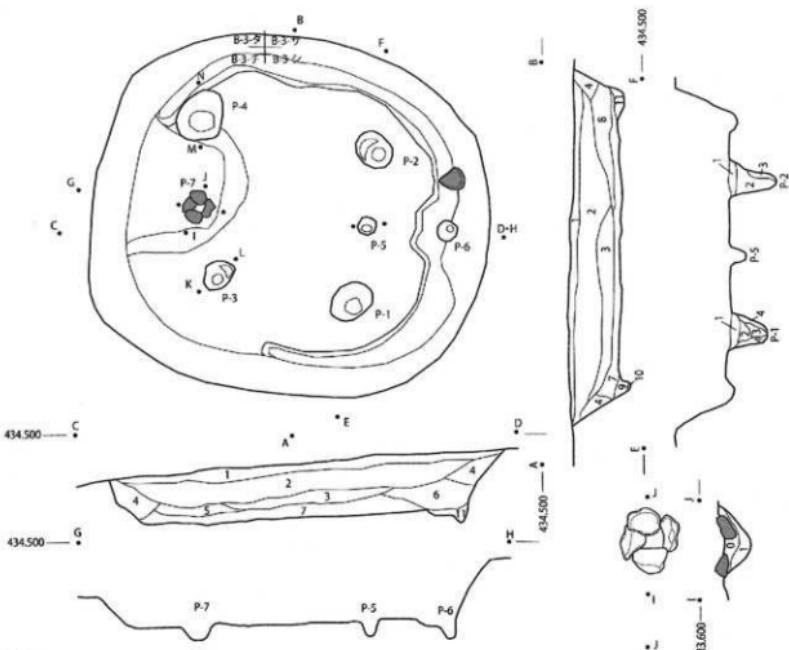


図-4(2) 1号住居炉跡 S=1/30



2号住跡跡

- 1 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり 粘性やや弱 2mm塊状物少量混入 1~3mm赤色粒子少量混入 1mm白色粒子少量混入
- 2 暗褐色土(10YR3/4) しまりややあり 粘性やや弱 2mm塊状物少量混入 2mm赤褐色粒子少量混入 2mm褐色スコリア少量混入 1mm白色粒子少量混入
- 3 暗褐色土(10YR3/4) しまりやや強 粘性やや弱 2mm塊状物少量混入 1~2mm赤色粒子少量混入 1~2mm褐色スコリア少量混入 1mm白色粒子少量混入
- 4 ロームブロック多少混入 しまりあり 粘性あり 1~2mm赤褐色粒子少量混入 1~2mm褐色スコリア少量混入 1mm白色粒子少量混入
- 5 褐色土(10YR4/4) しまりあり 1~2mm赤褐色粒子少量混入 1~2mm褐色スコリア少量混入 1mm白色粒子少量混入 ロームブロック多少混入
- 6 褐色土(10YR3/4) しまりやや弱 粘性やや弱 2mm塊状物少量混入 2~3mm赤色粒子少量混入 1mm褐色スコリア少量混入
- 7 褐褐色土(10YR3/4) しまりやや弱 粘性あり 1~2mm褐色粒子少量混入 1~2mm褐色スコリア少量混入 1mm白色粒子少量混入 5mmローム少量混入
- 8 暗褐色土(10YR3/4) しまりやや弱 粘性やや弱 1~2mm赤褐色粒子少量混入 1~2mm褐色スコリア少量混入
- 9 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり 粘性あり 1~2mm褐色粒子少量混入 1mm白色粒子少量混入 ロームブロック少量混入
- 10 黑褐色土(10YR2/2) しまりあり 粘性あり 1~2mm赤色粒子少量混入 1mm白色粒子少量混入 ロームブロック少量混入
- 11 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり 粘性あり 1~2mm褐色スコリア少量混入 1mm白色粒子少量混入 ロームブロック少量混入

2号住跡跡穴

ピット1

- 1 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり 粘性あり 1mm褐色スコリア少量混入 1mm褐色粒子少量混入
- 2 暗褐色土(10YR3/4) しまりややあり 1mm褐色スコリア少量混入 1mm褐色粒子少量混入 1mm白色粒子少量混入 1mm白色スコリア少量混入
- 3 暗褐色土(10YR3/4) しまりややあり 1mm褐色スコリア少量混入 1mm褐色粒子少量混入 1mm白色粒子少量混入 1mm白色スコリア少量混入
- 4 暗褐色土(10YR3/4) しまりややあり 1mm褐色スコリア少量混入 1mm褐色粒子少量混入 1mm白色粒子少量混入 1mm白色スコリア少量混入

ピット2

- 1 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり 粘性あり 1mm褐色スコリア少量混入 1mm褐色粒子少量混入
- 2 暗褐色土(10YR3/4) しまりややあり 1mm褐色スコリア少量混入 1mm褐色粒子少量混入
- 3 暗褐色土(10YR3/4) しまりややあり 1mm褐色スコリア少量混入 1mm褐色粒子少量混入 1mm白色粒子少量混入 2cmロームブロック多く混入

ピット3

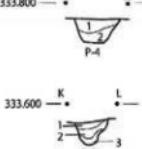
- 1 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり 粘性あり 1mm褐色スコリア少量混入 1mm褐色粒子少量混入
- 2 暗褐色土(10YR3/4) しまりややあり 1mm褐色スコリア少量混入 1mm褐色粒子少量混入
- 3 暗褐色土(10YR3/4) しまりややあり 1mm褐色スコリア少量混入 1mm褐色粒子少量混入 1mm白色粒子少量混入

ピット4

- 1 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり 粘性あり 2mm褐色スコリア少量混入 1mm褐色粒子少量混入 1mm白色粒子少量混入
- 2 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり 粘性あり 2mm褐色スコリア少量混入 1mm褐色粒子少量混入 1mm白色粒子少量混入

ピット7

- 0 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり 粘性あり 2mm褐色スコリア少量混入 1mm褐色粒子少量混入 2mm褐色スコリア少量混入
- 1 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり 粘性あり 化物少量混入



P-7 S=1/30

1
P-4

2
3
P-3

K
L

図-5 2号住跡跡 S=1/60

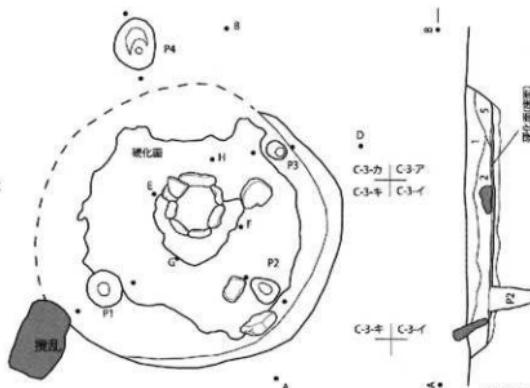
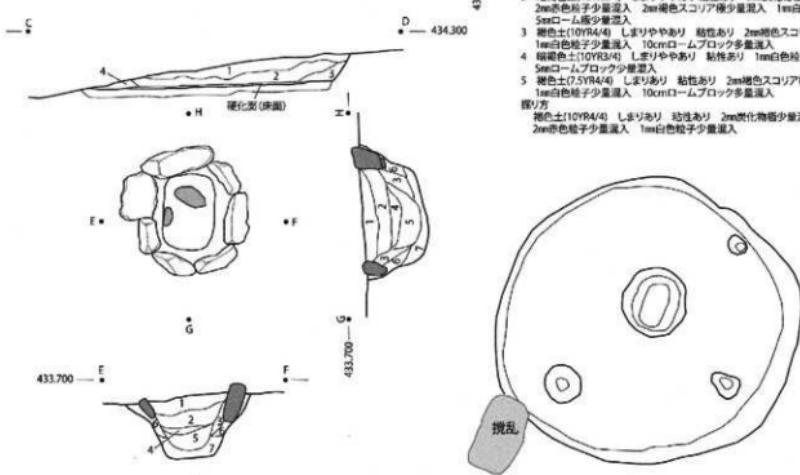


図-6 3号住居跡 S=1/60



3号住居跡 掘り方 S=1/60

- 3住居跡
- 褐色土(10YR3/4) しまりあり 粘性あり 2mm炭化物微少量混入 2mm褐色スコリア微少量混入
1mm白色粒子少量混入
 - 褐色土(10YR3/4) しまりあり 粘性あり 2mm褐色スコリア微少量混入 2mm褐色土やや多く混入
 - 褐色土(10YR3/3) しまりあり 粘性あり 2mm褐色スコリア微少量混入 1mm白色粒子少量混入
1mm白色粒微少量混入
 - 褐色土(10YR4/4) しまりややあり 粘性あり 2mm炭化物微少量混入 1mm白色粒子少量混入
1mm白色粒微少量混入
 - 褐色土(10YR3/4) しまりややあり 粘性あり 1mm白色粒子少量混入 10cmロームブロック多量混入
 - 褐色土(10YR3/4) しまりややあり 粘性あり 1mm白色粒子少量混入 10cmロームブロック多量混入

掘り方

褐色土(10YR4/4) しまりあり 粘性あり 2mm炭化物微少量混入
2mm白色粒子少量混入 1mm白色粒子少量混入

図-6(2) 炉 S=1/30

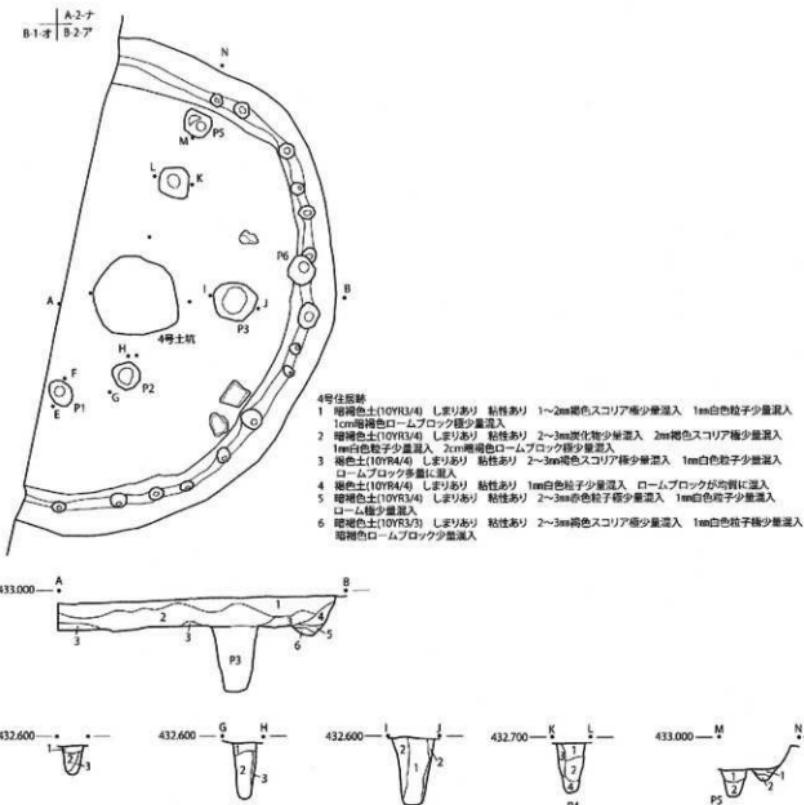
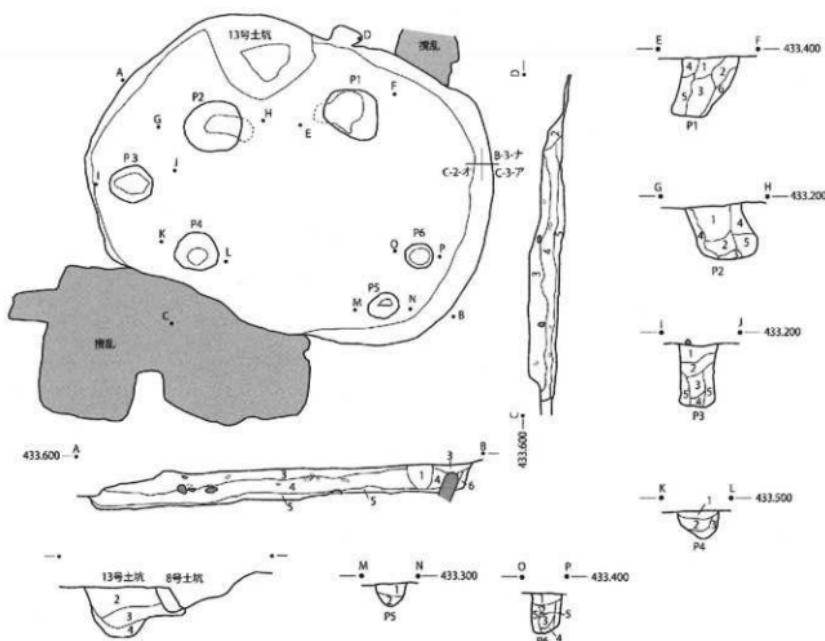


図-7 4号住居跡 S=1/60



59セクション

- 1 黄褐色土(10YR3/3) しまりあり 黏粒あり 2 浅緑色スコリア少量混入 1m白灰色粒子少量混入 雨ぬれローム少量混入
2 黄褐色土(10YR3/3) しまりあり 黏粒あり 2 浅緑色スコリア少量混入 1m白灰色粒子少量混入 雨ぬれローム少量混入
3 黄褐色土(10YR3/3) しまりあり 黏粒あり 2 浅緑色スコリア少量混入 1m白灰色粒子少量混入 雨ぬれローム少量混入
4 黄褐色土(10YR3/3) しまりあり 黏粒あり 2 浅緑色スコリア少量混入 1m白灰色粒子少量混入 雨ぬれローム少量混入
5 黄褐色土(10YR3/3) しまりあり 黏粒あり 2 浅緑色スコリア少量混入 1m白灰色粒子少量混入 雨ぬれローム少量混入
6 黄褐色土(10YR3/3) しまりあり 黏粒あり 2 浅緑色スコリア少量混入 1m白灰色粒子少量混入 雨ぬれローム少量混入
7 黄褐色土(10YR3/3) しまりあり 黏粒あり 2 浅緑色スコリア少量混入 1m白灰色粒子少量混入 雨ぬれローム少量混入
8 黄褐色土(10YR3/3) しまりあり 黏粒あり 2 浅緑色スコリア少量混入 1m白灰色粒子少量混入 雨ぬれローム少量混入

564 陈鹤良

- ピット1
1 南極白桜(10YR7/4) しまりややあり 花柄あり 2mm薄色スコリア細少葉混入 1mm白色粘子細少葉混入 5mm黄色褐色ローム粒状少葉混入
2 南極白桜(10YR7/4) しまりややあり 花柄あり 2mm薄色スコリア細少葉混入 1mm白色粘子細少葉混入 黄色ローム・ブロック状少葉混入
3 南極白桜(10YR7/4) しまりややあり 花柄あり 2mm薄色スコリア細少葉混入 1mm白色粘子細少葉混入 ローム・ブロック状少葉混入 1mmより堆積の日が経た
4 にぶく黄葉桜(10YR7/3) しまりややあり 花柄あり 2mm薄色スコリア細少葉混入 1mm白色粘子細少葉混入 黄色ローム・ブロックややく深入
5 灰葉桜(10YR7/4) しまりややあり 花柄あり 1mm花被片細少葉混入 2mm薄色スコリア細少葉混入 1mm白色粘子細少葉混入 黄色褐色ローム・ブロックややく深入
6 にぶく黄葉桜(10YR7/3) しまりややあり 花柄あり 2mm薄色スコリア細少葉混入 1mm白色粘子細少葉混入 黄色ローム・ブロックやく深入

ピット2
1 黒葉桜(10YR7/3) しまりややあり 花柄あり 2mm薄色スコリア細少葉混入 1mm白色粘子細少葉混入 黄色褐色ローム・ブロック少葉混入
2 黒葉桜(10YR7/3) しまりややあり 花柄あり 2mm薄色スコリア細少葉混入 1mm白色粘子細少葉混入 黄色褐色ローム・ブロック少葉混入
3 黒葉桜(10YR7/3) しまりややあり 花柄あり 2mm薄色スコリア細少葉混入 1mm白色粘子細少葉混入 黄色褐色ローム・ブロック少葉混入
4 墓地(10YR7/4) しまりややあり 花柄あり 2mm薄色スコリア細少葉混入 5mm黄色褐色ローム粒状少葉混入
5 にぶく黄葉桜(10YR7/3) しまりややあり 花柄あり 2mm薄色スコリア細少葉混入 2mm薄色スコリア細少葉混入 黄色褐色ローム・ブロックやく深入
6 にぶく黄葉桜(10YR7/3) しまりややあり 花柄あり 2mm薄色スコリア細少葉混入 2mm薄色スコリア細少葉混入 黄色褐色ローム・ブロックやく深入

ピット3

- 1 番地(土)(10YR4/4) 3.レリヤリやリ 色性あり 1.木炭化物少量混入
2 地(土)(10YR4/4) 3.レリヤリやリ 色性あり 2.黒色スズカリ少量混入 1.白色粘土少量混入 黄褐色ロームブロック少量混入
3 地(土)(10YR4/4) 3.レリヤリやリ 色性あり 2.黒色スズカリ少量混入 1.白色粘土少量混入 黄褐色ロームブロック少量混入
4 に、灰(土)(10YR4/4) 3.レリヤリやリ 色性あり 2.黒色スズカリ少量混入 1.白色粘土少量混入 黄褐色ロームブロック少量混入
5 に、灰(土)(10YR4/4) 3.レリヤリやリ 色性あり 2.木炭化物少量混入 1.白色粘土少量混入 ロームブロック少量混入
6 地(土)(10YR4/4) 3.レリヤリやリ 色性あり 2.黒色スズカリ少量混入 1.白色粘土少量混入 黄褐色ローム少量混入
7 に、灰(土)(10YR4/4) 3.レリヤリやリ 色性あり 2.木炭化物少量混入 1.白色粘土少量混入 黄褐色ローム少量混入
8 地(土)(10YR4/4) 3.レリヤリやリ 色性あり 2.黒色スズカリ少量混入 1.白色粘土少量混入 黄褐色ローム少量混入

ピット5

- 1 灰黄褐色土(10YR4/2) しまりやあり 黏性あり 2mm褐色スコリア細少量混入 1mm白色粒子細少量混入 黄褐色ロームブロック少量混入
2 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり 黏性あり 2mm褐色スコリア細少量混入 1mm白色粒子細少量混入 ローム絆少量混入
ピット6

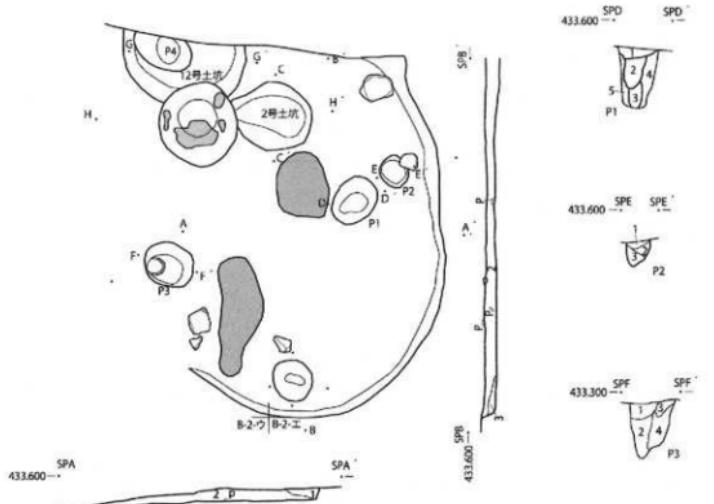
116

- | | | | | | |
|------------------|--------|------|------------------|--------|------|
| 1 黒褐色土(1)[OR3/3] | しぼりやくろ | 粘性あり | 1 黑褐色土(1)[OR3/3] | しぼりやくろ | 粘性あり |
| 2 黒褐色土(1)[OR3/3] | しぼりやくろ | 粘性あり | 2 黑褐色土(1)[OR3/3] | しぼりやくろ | 粘性あり |
| 3 黒褐色土(1)[OR3/3] | しぼりやくろ | 粘性あり | 3 黑褐色土(1)[OR3/3] | しぼりやくろ | 粘性あり |
| 4 紫褐色土(1)[OR3/3] | しぼりやくろ | 粘性あり | 4 紫褐色土(1)[OR3/3] | しぼりやくろ | 粘性あり |
| 5 暗褐色土(1)[OR3/3] | しぼりやくろ | 粘性あり | 5 暗褐色土(1)[OR3/3] | しぼりやくろ | 粘性あり |

• 199

- 図-8 5号庄店跡平面図 S=1/60

図-8 5号住居棟平面図 S=1/60



6号住セクション図

- 1 赤褐色土(10YR4/4) しまりあり 黏性あり 岩化物少量混入 2mm赤褐色スコリア粒少量混入 1mm白色粒子極少量混入 ロームブロック多く混入 斜面土
- 2 黄褐色土(10YR4/5) しまりあり 黏性あり 2mm褐色スコリア少量混入 1mm白色粒子少量混入 1mm褐色粒子少量混入
- 3 黑褐色土(10YR3/2) しまりあり 黏性あり 2mm赤褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子極少量混入 ローム極少量混入



6号住踏跡炉

- 1 黒褐色土(10YR3/4) しまりあり 黏性あり 2~3mm炭酸化物粒少量混入 1mm褐色粒子極少量混入 1mm白色粒子極少量混入 上に黒褐色の薄層す
- 2 赤褐色土(2.5YR4/8) 黏土 しまりあり 黏性弱い 褐褐色土がブロック状に多く混入
- 3 黑褐色土(10YR3/4) しまりあり 黏性あり 1mm白色粒子極少量混入 2mm褐色粒子極少量混入 1mm褐色コーム粒少量混入
- 4 増褐色土(10YR3/3) しまりややあり 黏性やや弱い 2mm褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子少量混入 褐褐色ロームブロック少量混入 地被により粘性を失う



ビット1

- 1 褐色土(10YR4/4) しまりややあり 黏性あり 3~5mm赤褐色スコリア粒少量混入 1mm白色粒子極少量混入 1cmロームブロック少量混入
- 2 黄褐色土(10YR3/4) しまりややあり 黏性あり 2mm褐色スコリア粒少量混入 1mm白色粒子極少量混入 5mmローム粒極少量混入
- 3 黑褐色土(10YR2/3) しまりややあり 黏性あり 2mm褐色スコリア粒少量混入 堆積の塊が細かい
- 4 増褐色土(10YR3/3) しまりややあり 黏性あり 3mm炭酸化物粒少量混入 2mm褐色スコリア粒少量混入 1mm白色粒子極少量混入 1~3cmロームブロック少量混入

ビット2

- 1 褐色土(10YR3/4) しまりややあり 黏性あり 2~3mm褐色スコリア粒少量混入 1mm白色粒子極少量混入
- 2 褐褐色土(10YR3/4) しまりややあり 黏性あり 1mm白色粒子極少量混入 2mmローム粒極少量混入
- 3 增褐色土(10YR3/3) しまりややあり 黏性あり 1mm赤褐色スコリア粒少量混入 1mm白色粒子極少量混入 ロームブロックや多く混入
- 4 増褐色土(10YR3/3) しまりややあり 黏性あり 2mm褐色スコリア粒少量混入 1mm白色粒子極少量混入 黄褐色ロームブロック少量化入 褐褐色ロームブロック多く混入
- 5 増褐色土(10YR3/4) しまりややあり 黏性あり 2mm褐色スコリア粒少量混入 1mm白色粒子極少量混入 褐褐色コーム粒極少量混入
- 6 黑褐色土(10YR4/4) しまりややあり 黏性あり 2mm褐色スコリア粒少量混入 1mm白色粒子極少量混入 黃褐色ローム粒や多く混入
- 7 黑褐色土(10YR2/3) しまりややあり 黏性あり 2mm褐色スコリア粒少量混入 1mm白色粒子極少量混入 5mmローム粒少量混入
- 8 黑褐色土(10YR4/4) しまりややあり 黏性あり 2mm褐色スコリア粒少量混入 1mm白色粒子極少量混入 ロームブロックや多く混入
- 9 増褐色土(10YR3/3) しまりややあり 黏性あり 2mm褐色スコリア粒少量混入 1mm白色粒子極少量混入 黄褐色ローム粒極少量混入
- 10 黑褐色土(10YR4/3) しまりややあり 黏性あり 1~3mm炭酸化物粒少量混入 2mm褐色スコリア粒少量混入 1mm白色粒子極少量混入 黄褐色ローム粒極少量混入

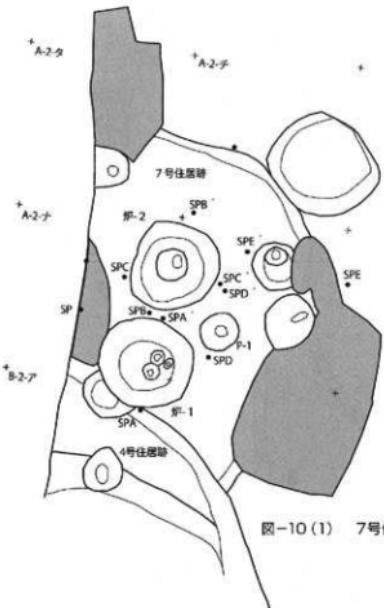


図-10 (1) 7号住居階 S=1/60

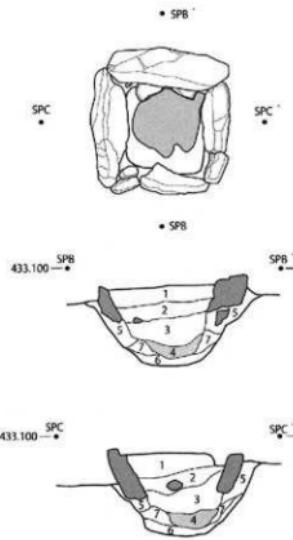


図-10 (3) 7号住居階 戸2 S=1/30

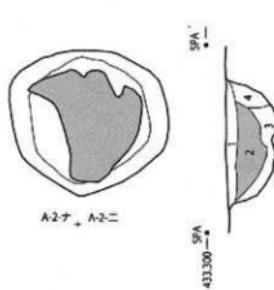


図-10 (2) 7号住居階 戸1 S=1/30

- 7号住居階①
 1 黒褐色土(10YR4/2) しまりややあり 黏性あり 2mm炭化物少量混入 2mm褐色スコリア極少量混入
 1cm粘土ブロック多量混入 3mm灰土多量混入
 2 暗赤褐色土(2SYR5/8) しまりあり 黏性なし 褐褐色ブロックや多く混入 接土主体
 3 にぶい褐色土(10YR4/3) しまりややあり 黏性ややあり 2mm炭化物極少量混入
 2mm白色粒子極少量混入 1mm白色粒子極少量混入 接土ブロック少量混入
 4 黄褐色土(10YR4/4) しまりややあり 黏性やややあり 2mm褐色スコリア極少量混入
 1mm白色粒子極少量混入 2mm灰土粒子極少量混入

- 7号住戸②
 1 黒褐色土(10YR4/2) しまりややあり 黏性あり 2mm炭化物少量混入 2mm褐色スコリア極少量混入
 1mm白色粒子極少量混入 2mm灰土粒子極少量混入
 2 灰褐色土(10YR4/2) しまりややあり 黏性あり 2mm炭化物少量混入 2mm褐色スコリア極少量混入
 1mm白色粒子極少量混入 2mm灰土粒子極少量混入 黄褐色ロームを少量含む
 3 暗褐色土(10YR5/4) しまりややあり 黏性あり 3~5mm炭化物極少量混入 2mm褐色スコリア極少量混入
 4 白色粒子極少量混入
 5 暗褐色土(2SYR4/8) しまりややあり 黏性なし 褐色土をブロック状に少量混入 接土主体
 6 暗黄褐色土(10YR4/2) しまりやややあり 黏性あり 2mm炭化物極少量混入 2mm褐色スコリア極少量混入
 1mm白色粒子極少量混入 1mm白色粒子極少量混入 褐褐色ロームブロック極少量混入
 7 にぶい褐色土(10YR4/3) しまりやややあり 黏性あり 2mm褐色スコリア極少量混入
 1mm白色粒子極少量混入 5mm灰土粒子極少量混入 褐色土により粘性を失う

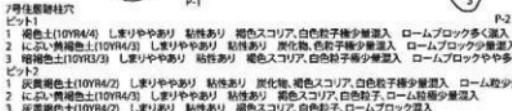


図-10 (4) 7号住居階 柱穴 S=1/60

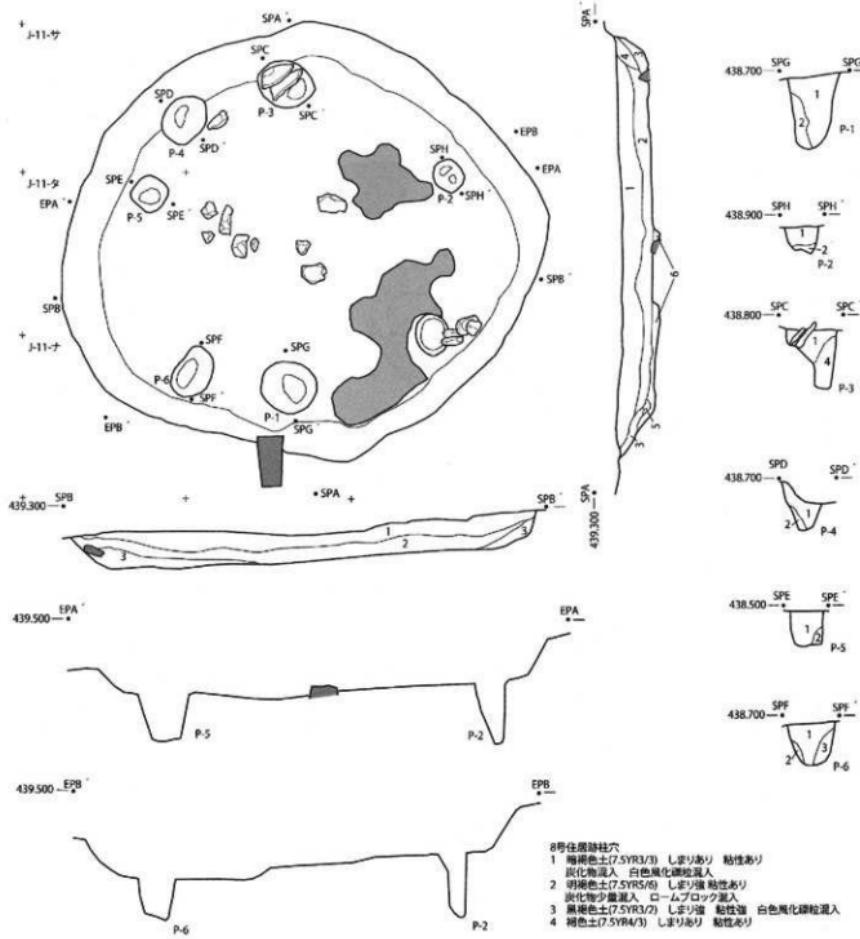


図-11 8号住居跡 S=1/60

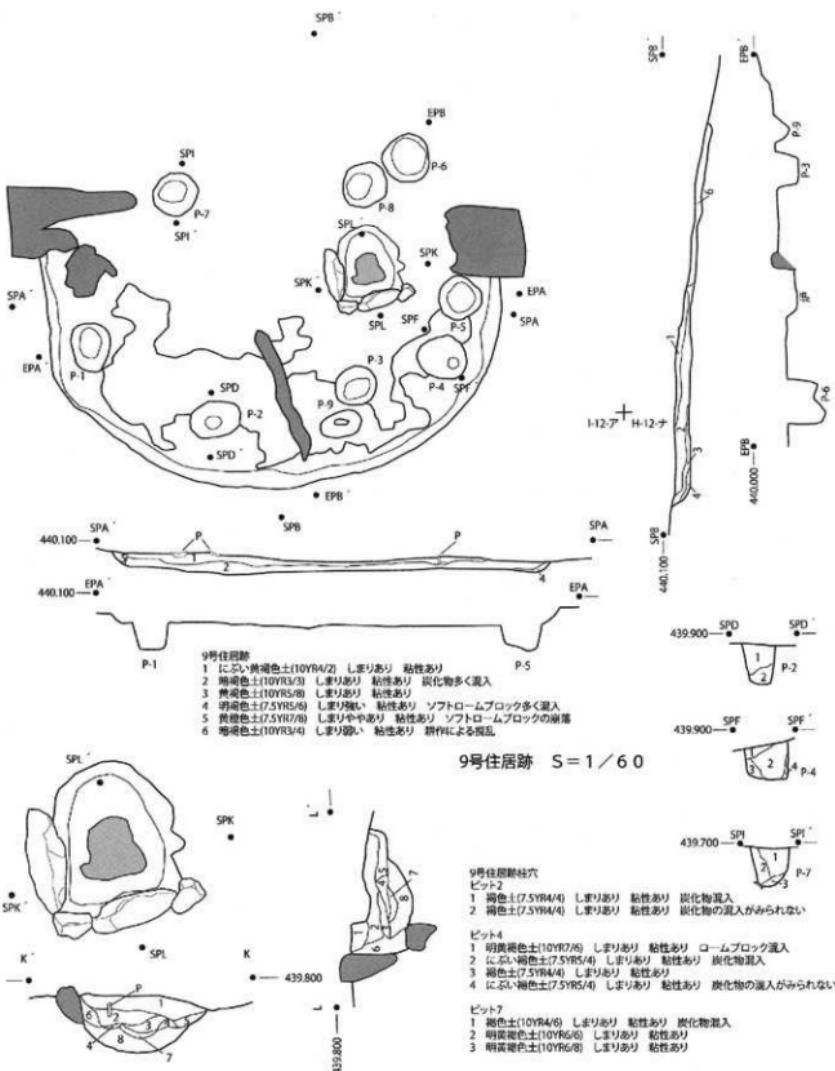
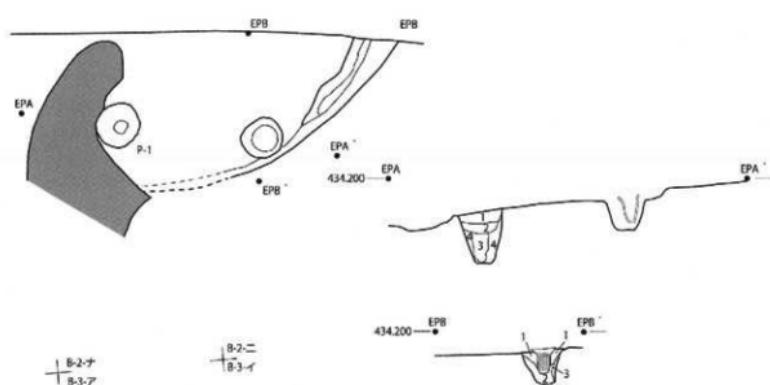
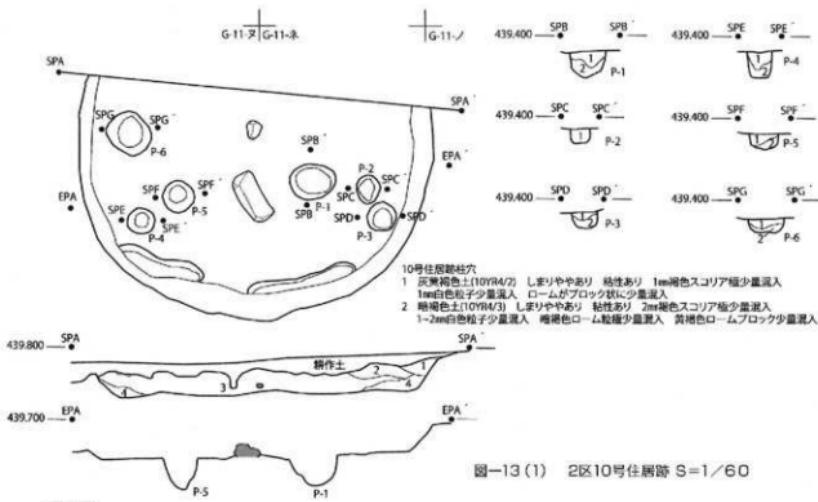
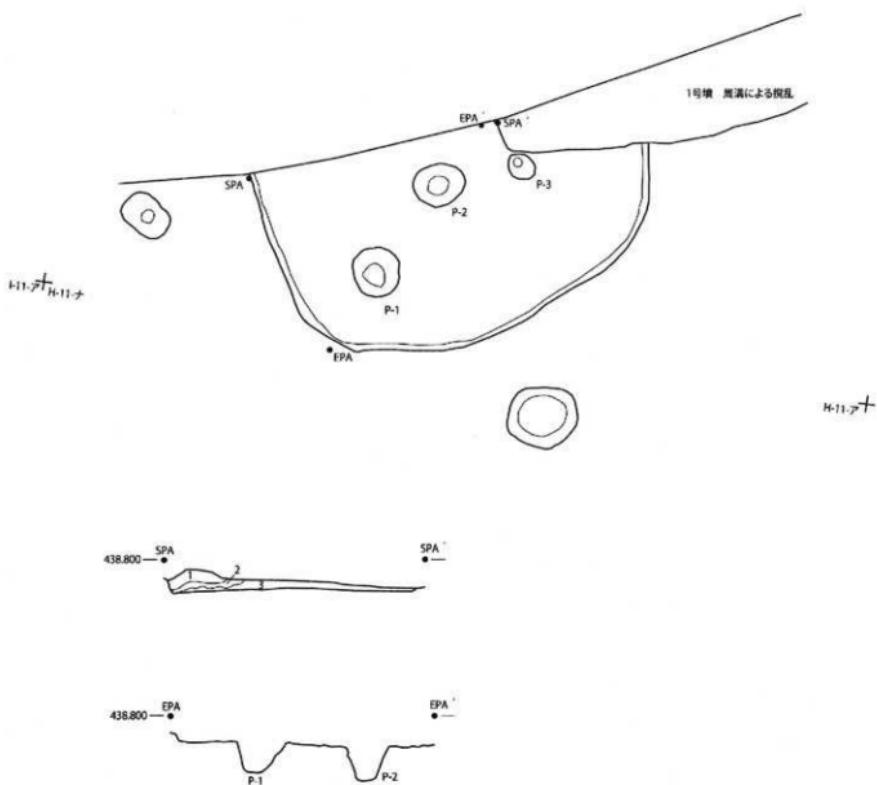


図-12 9号住居跡 炉跡 S=1 / 30



- 11号住居跡柱穴**
- ピット1
1. 墓褐色土(10YR3/3) しまりややあり 粘性あり 2mm褐色スコリア細少量混入 1mm白色粒子少量混入 墓褐色ロームがブロック状に少量混入 黄褐色ローム少量混入
 2. 墓褐色土(10YR3/3) しまりややあり(1層より深い) 粘性あり 2mm褐色スコリア細少量混入 1mm白色粒子少量混入 墓褐色ロームがブロック状に少量混入
 3. 黄褐色土(10YR4/2) しまりややあり 粘性あり 1mm褐色物細少量混入 2mm褐色スコリア細少量混入 1mm白色粒子少量混入
 4. にじい黄褐色土(10YR4/3) しまりややあり 粘性あり 3mm褐色物細少量混入 2mm褐色スコリア細少量混入 1mm白色粒子少量混入
- 11号住居跡ピット2**
1. にじい褐色土(7SYR5/4) しまりやや 粘性あり
 2. 棕褐色土(7SYR4/3) しまりやや 粘性あり
 3. 棕褐色土(7SYR) しまりやや 粘性あり

図-13(2) 1区11号住居跡 S=1/60



13号住居セクション
 1 黒褐色土(10YR3/4) しりあり 粘性ややあり 古墳造成時の影響を受け、混入粒子が粗く、全体にロームブロック混入。
 2 黒褐色土(10YR3/3) しりあり 粘性あり 混化物多く混入 ロームブロック混入
 3 黒褐色土(10YR2/3) しりややあり 粘性あり 炭化物混入 ロームブロック混入

図-14 13号住居跡 S=1/60

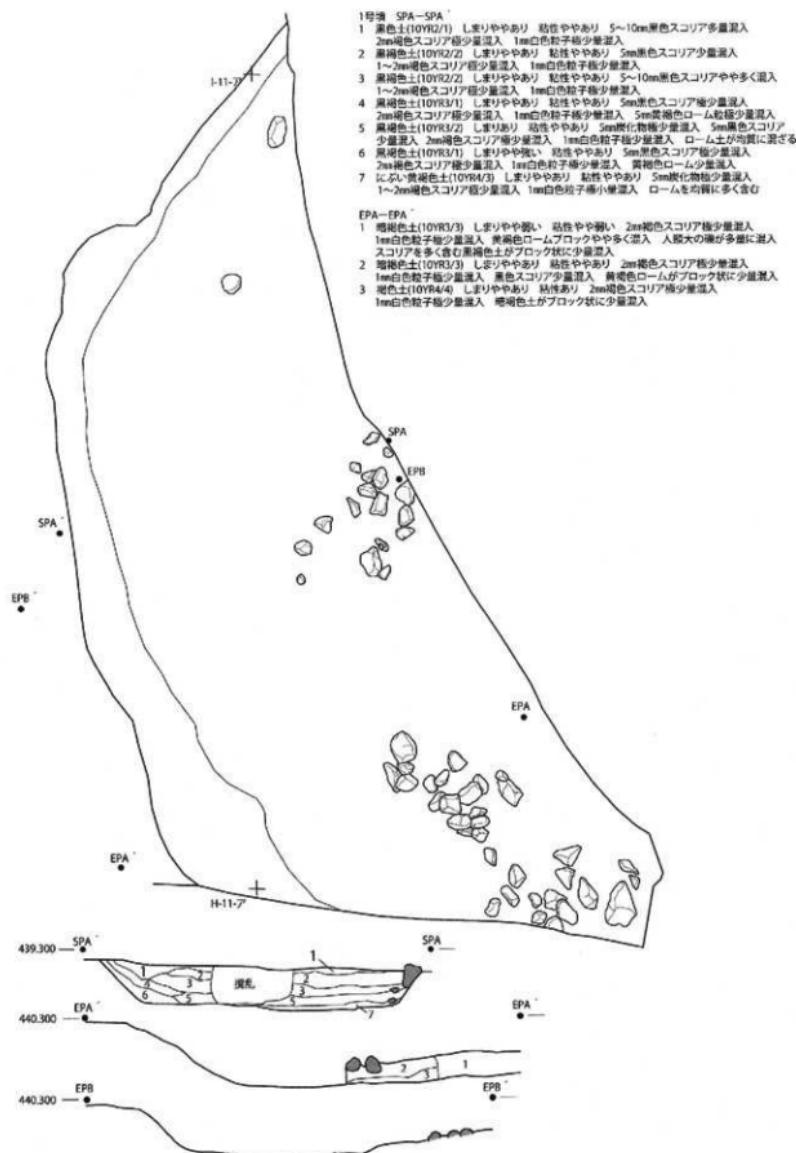
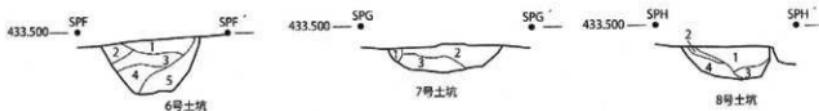
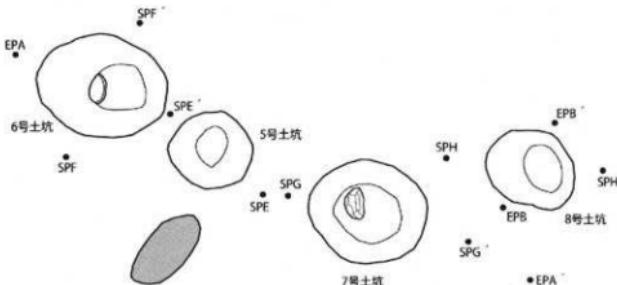


図-15 1号墳周溝 S=1/60

+
B-3-イ+
B-3-オ

- 5号土坑
 1 暗褐色土(10YR3/4) しまりややあり、粘性あり、ローム質
 2 暗褐色土(10Y3/4) しまりややあり、粘性あり、ロームブロック少量混入
 3 褐色土(10YR4/4) しまりややあり、粘性あり、ロームブロック均等に混入

- 6号土坑
 1 暗褐色土(10YR3/3) しまりややあり、粘性あり、ローム質
 2 褐色土(10YR4/4) しまりややあり、粘性あり、ローム質、ロームブロック混入
 3 暗褐色土(10YR3/4) しまりややあり、粘性あり、ローム質
 4 暗褐色土(10YR3/3) しまり層やあり、粘性あり、ローム質
 5 褐色土(10YR4/4) しまりややあり、粘性あり、ロームブロック混入

- 7号土坑
 1 褐色土(10YR4/4) しまりややあり、粘性あり、ロームブロック多く混入、崩落土か
 2 暗褐色土(10YR3/3) しまりややあり、粘性あり、ロームブロック、炭化物少量混入
 3 暗褐色土(10YR3/4) しまり層やあり、粘性あり、ロームブロック、炭化物少量混入

- 8号土坑
 1 暗褐色土(10YR3/4) しまりややあり、粘性あり、炭化物少量混入
 2-3 暗褐色土(10YR3/3) しまりややあり、粘性あり、
 4 褐色土(10YR4/4) しまりややあり、粘性あり、ローム土を多く混入

図-16 1区土坑 S=1/60

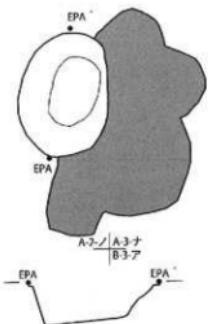


図-17(1) 3号土坑

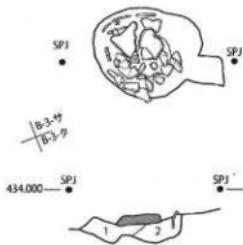


図-17(2) 10号土坑 S=1/30

10号土坑

- 1 暗褐色土(10YR3/4) しまりややあり 粘性あり 2mm赤褐色粒子極少量混入 1mm白色粒子極少量混入
- 2 地面土(10YR3/3) しまりややあり 粘性あり 1mm炭化物極少量混入 1mm白色粒子極少量混入 5mm~1cmロームブロック少量混入

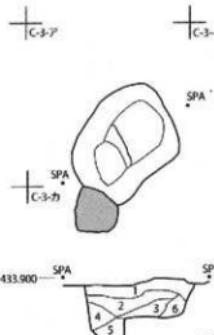


図-17(3) 11号土坑

11号土坑

- 1 暗褐色土(10YR3/3) しまりややあり 粘性あり 2~3mm赤褐色スコリア極少量混入 1mm赤褐色粒子極少量混入 5mm~1cmロームブロック極少量混入
- 2 暗褐色土(10YR3/4) しまりややあり 粘性あり 2mm炭化物極少量混入 2mm赤褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子極少量混入
- 3 黄褐色土(10YR4/4) しまりややあり 粘性あり 2mm赤褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子極少量混入 にぶい黄褐色土(10YR4/3) しまりややあり 粘性あり 3mm炭化物極少量混入 1mm白色粒子極少量混入 ロームが地面上に見入る
- 4 暗褐色土(10YR3/4) しまりややあり 粘性あり 2mm赤褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子極少量混入 深色ロームをブロック状に少量混入
- 5 暗褐色土(10YR3/4) しまりややあり 粘性あり 2mm炭化物極少量混入 2mm赤褐色スコリア極少量混入 1mm白色粒子極少量混入 地山部分

図-17 1区各土坑 S=1/6

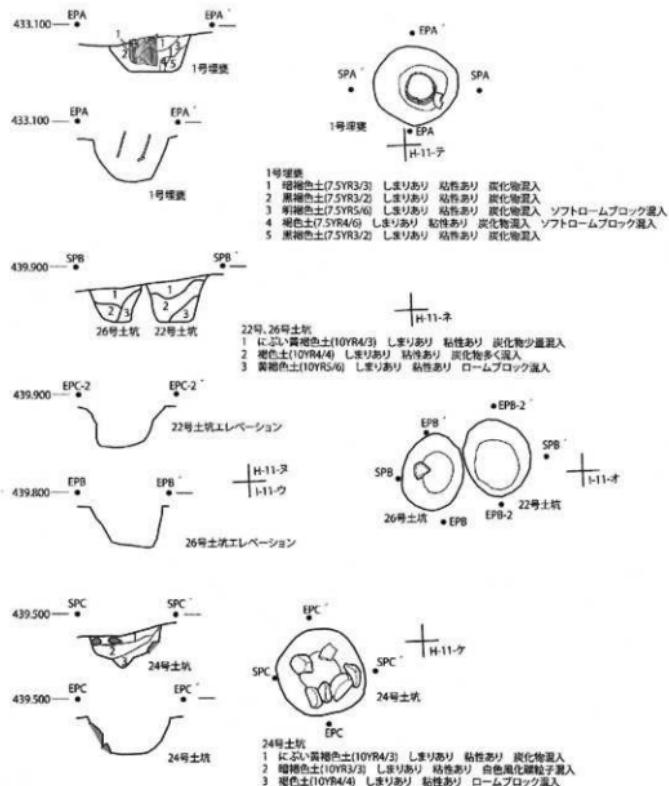


図-1B (1) 2区22号、24号、26号土坑、1号埋蔵 S=1/60

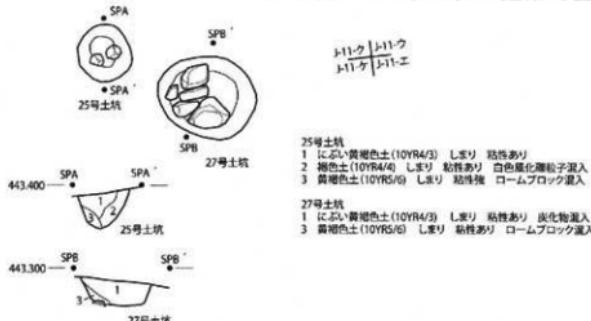
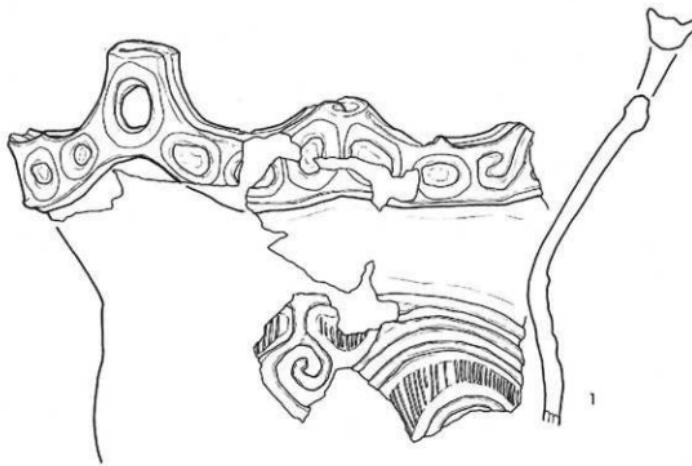


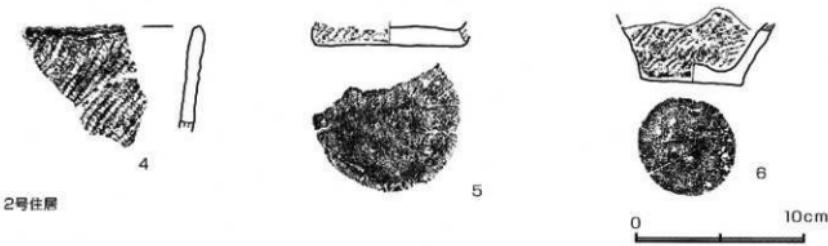
図-1B (2) 2区25号、27号土坑 S=1/60



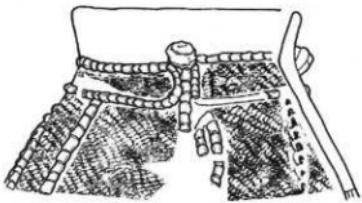
1号住居



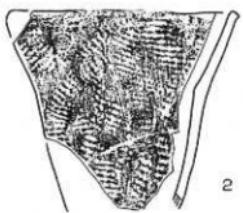
2号住居



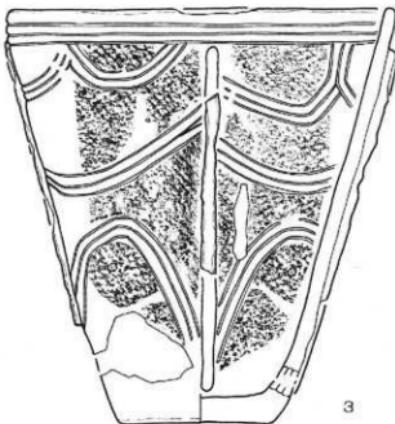
第19図 1号住居・2号住居跡出土遺物



1



2



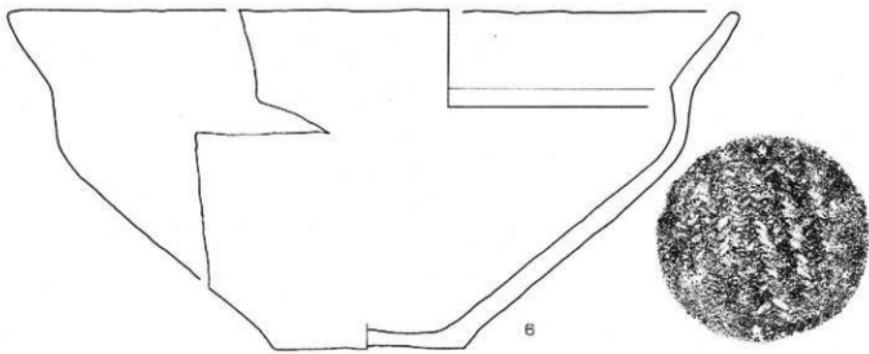
3



4



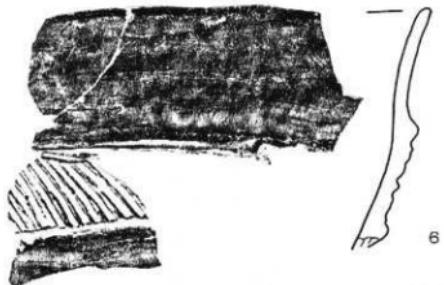
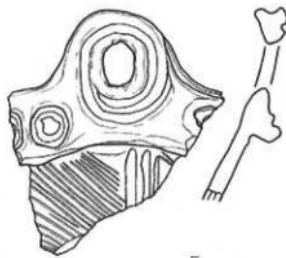
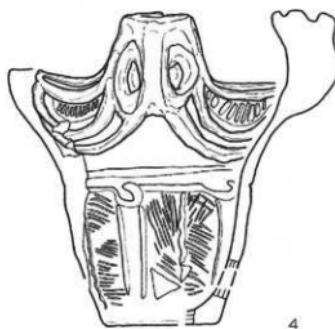
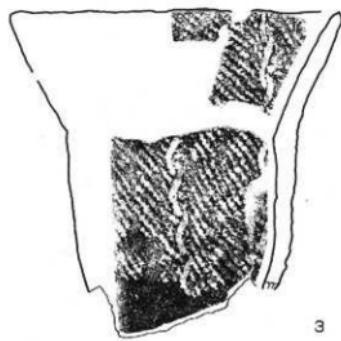
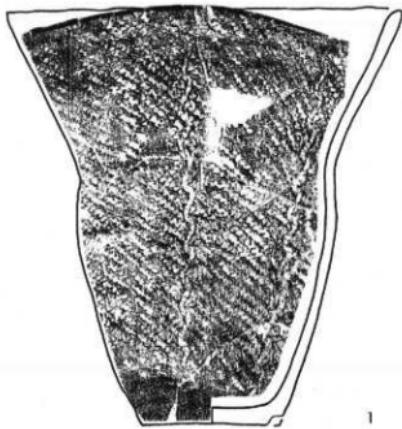
5



6

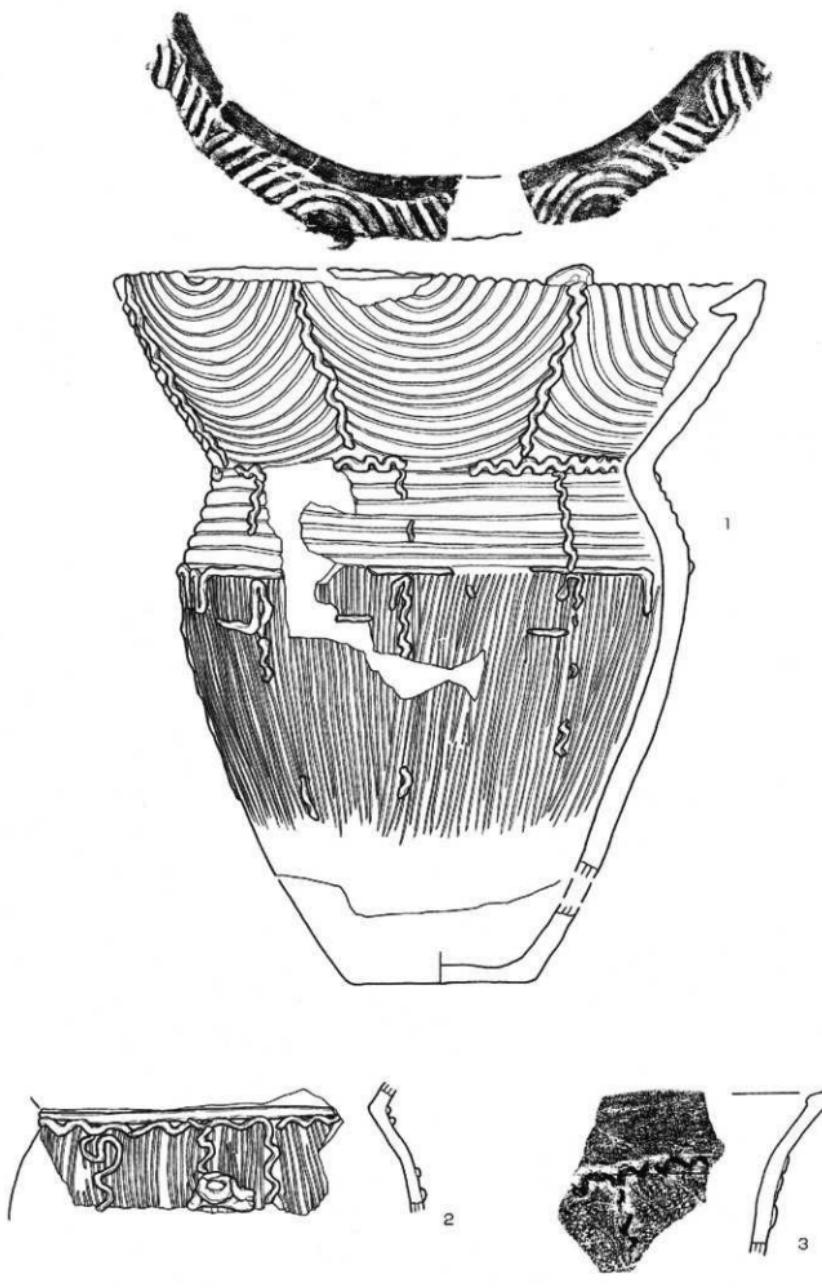
第20図 3号住居跡出土遺物

0 10cm



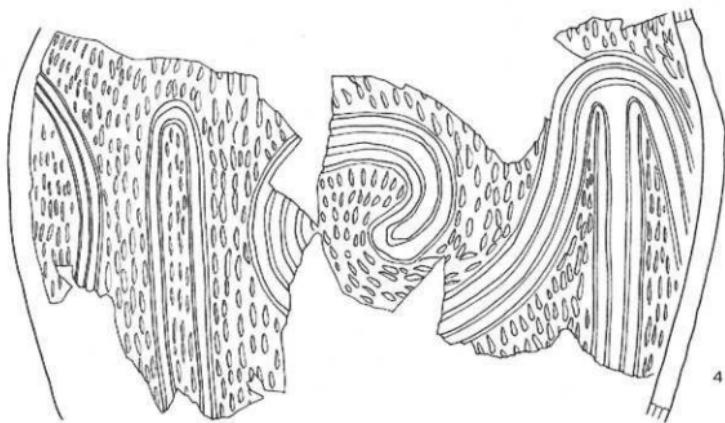
第21图 4号住居跡出土遺物

0 10cm

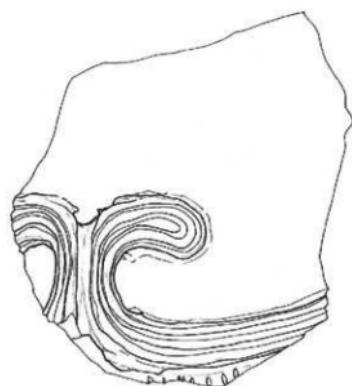


第22圖 5号住居跡出土遺物

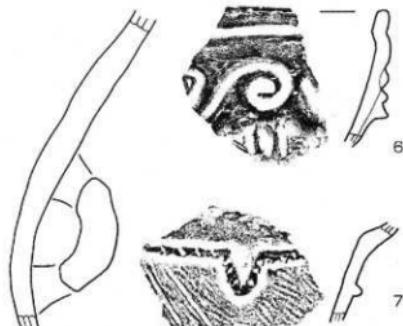
0 10cm



4



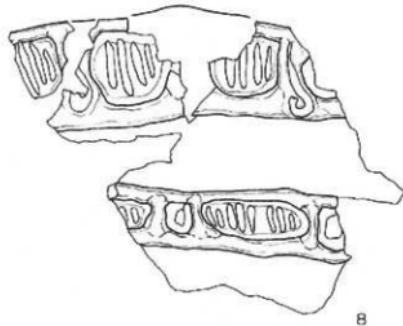
5



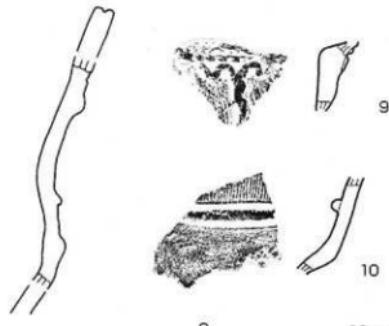
6



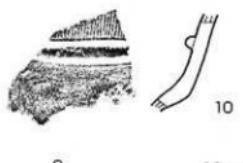
7



8



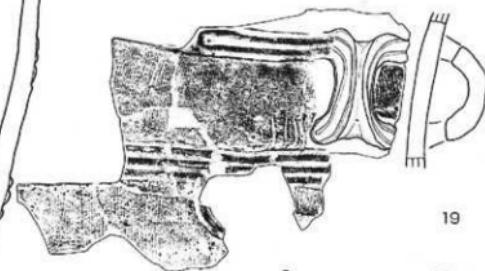
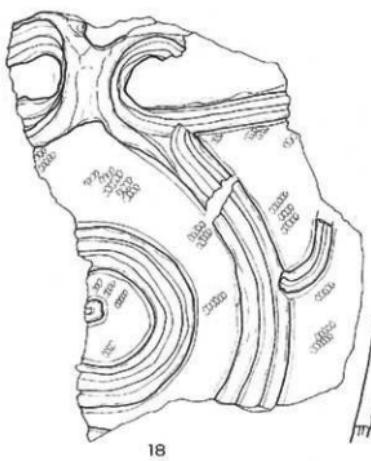
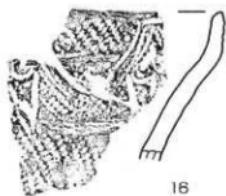
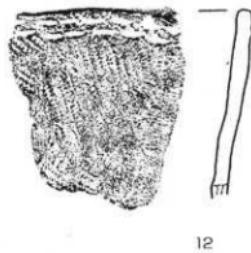
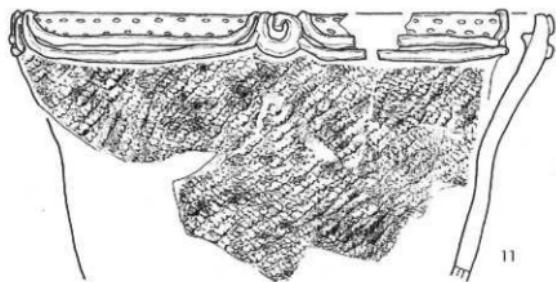
9



10

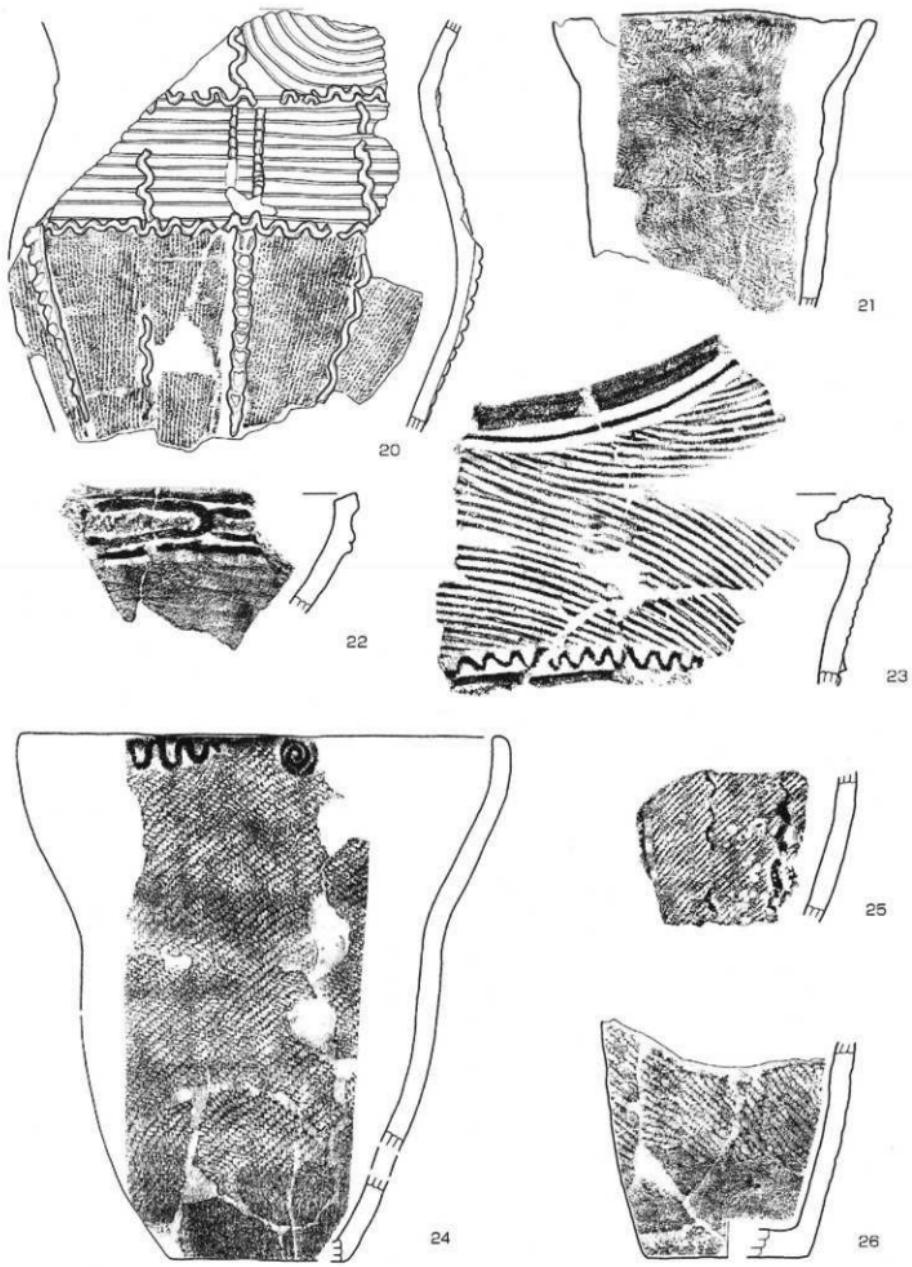
0 10cm

第23圖 5號住居跡出土遺物



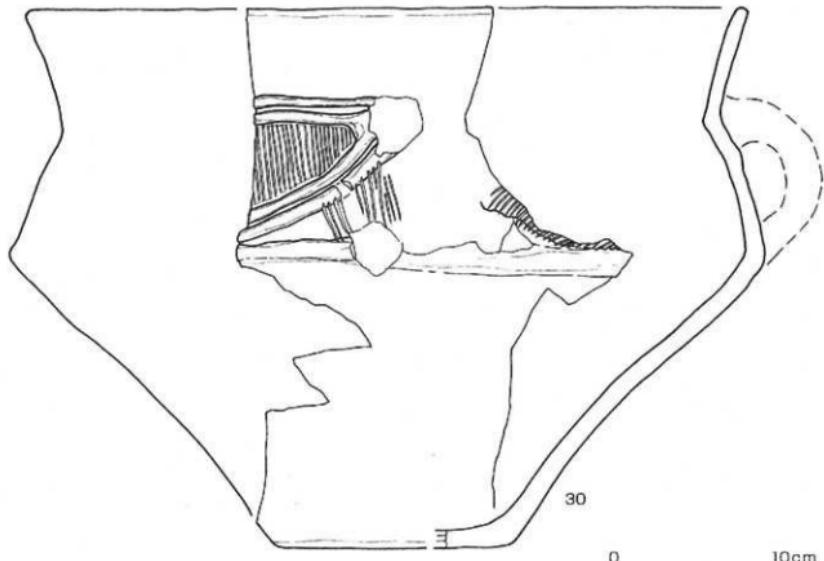
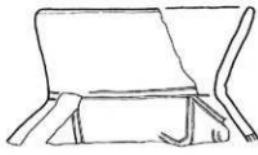
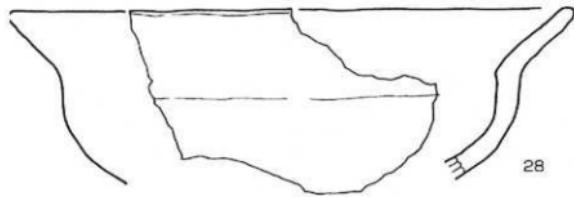
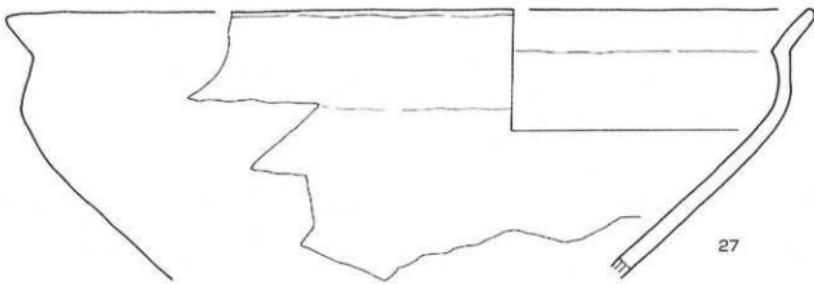
0 10cm

第24図 5号住居跡出土遺物



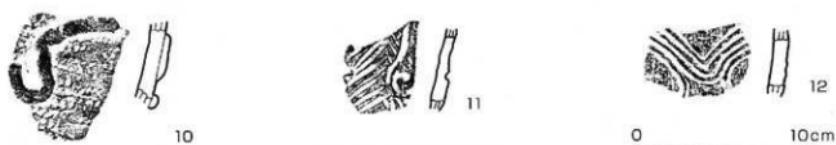
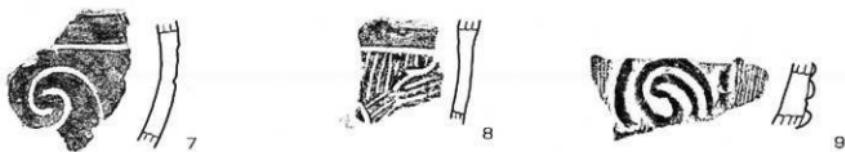
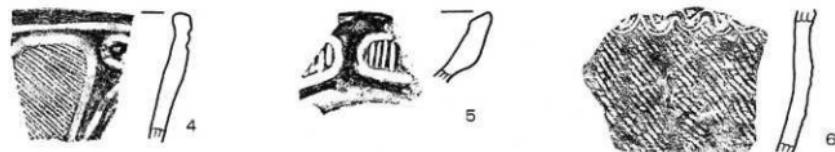
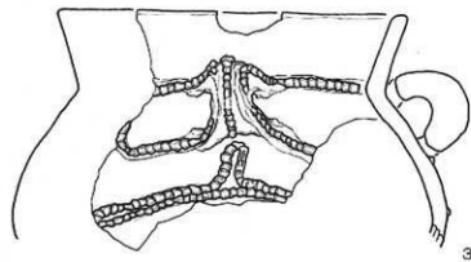
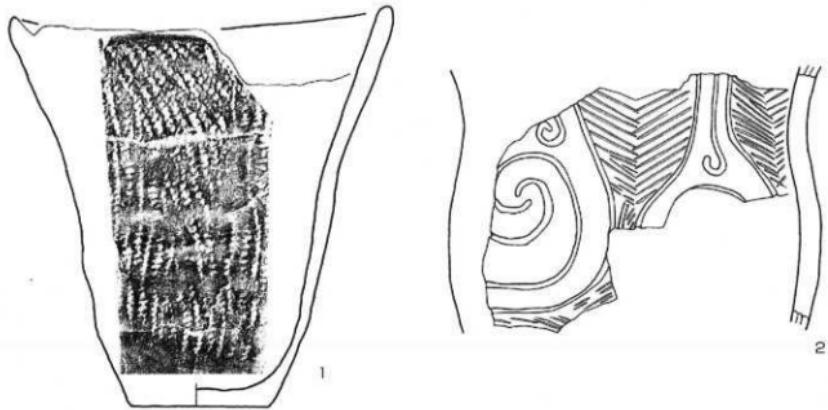
第25圖 5號住居跡出土遺物

0 10cm



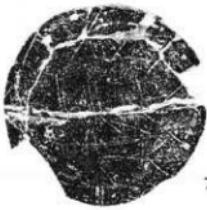
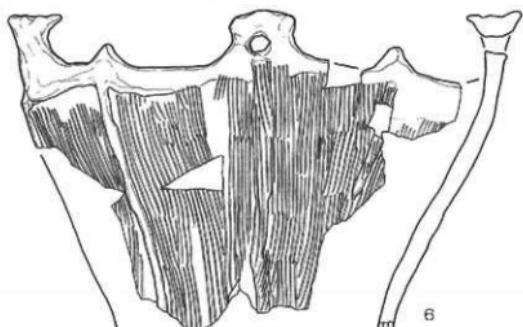
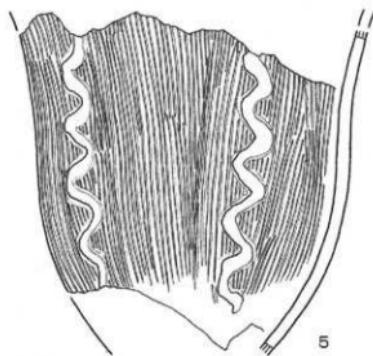
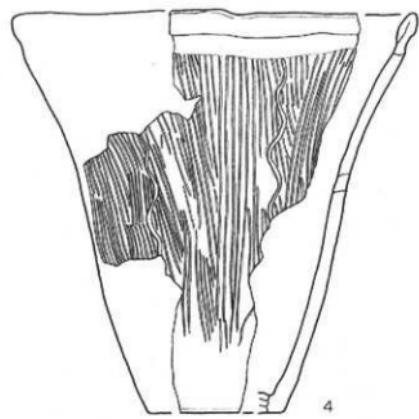
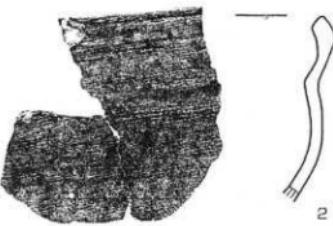
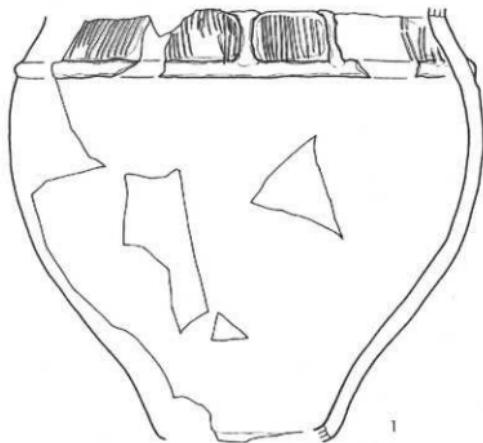
第26图 5号住居跡出土遺物

0 10cm



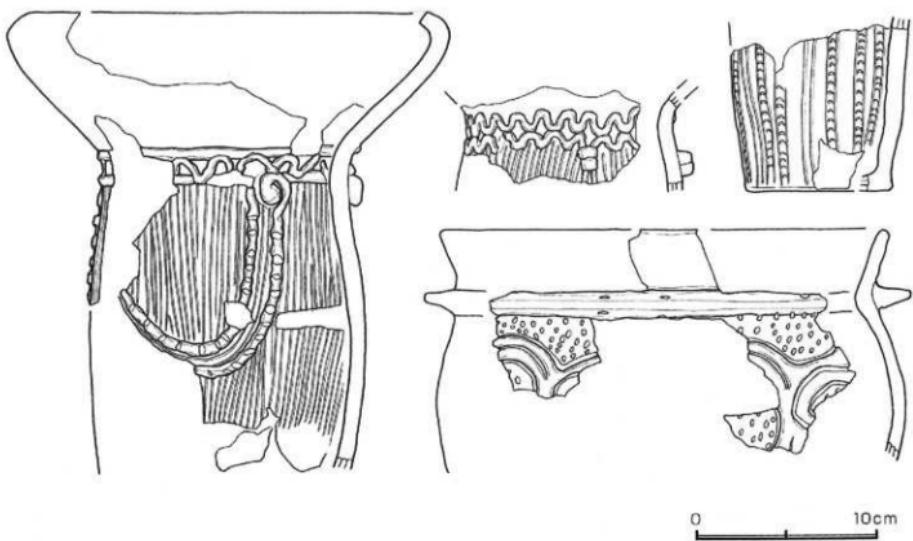
第27図 6号住居跡出土遺物

0 10cm



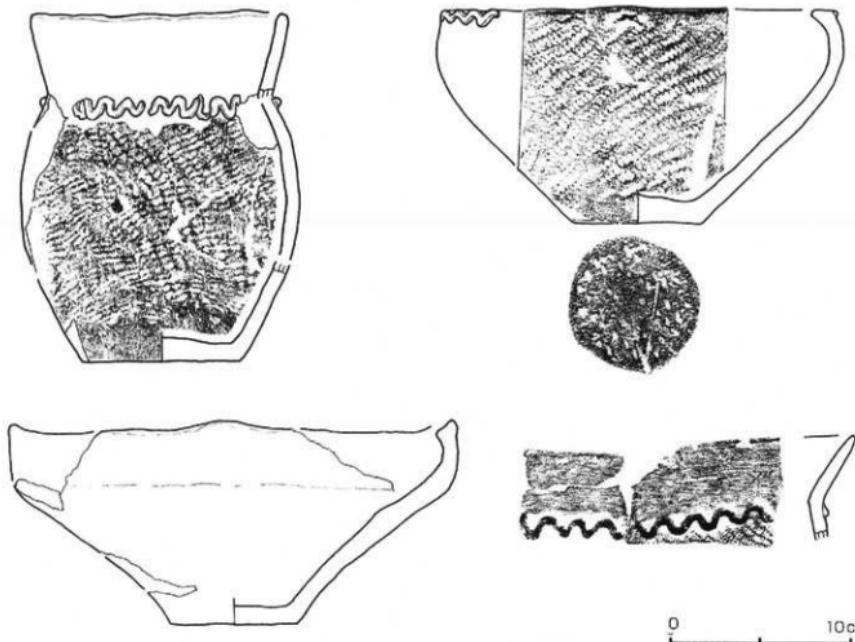
第28图 7号住居跡出土遺物

0 10cm



8号住居

0 10cm



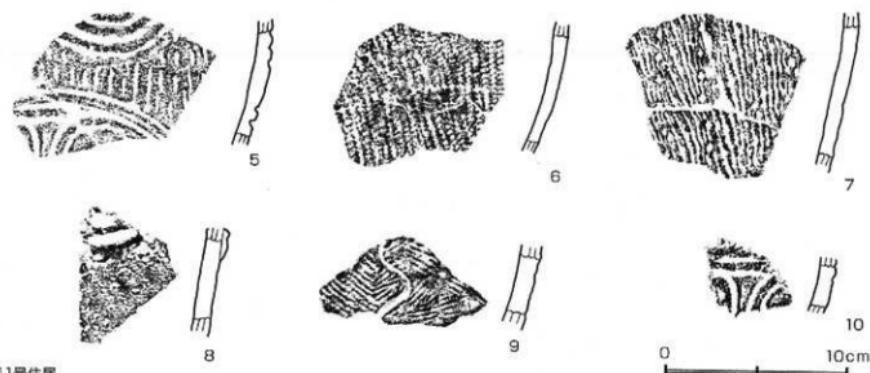
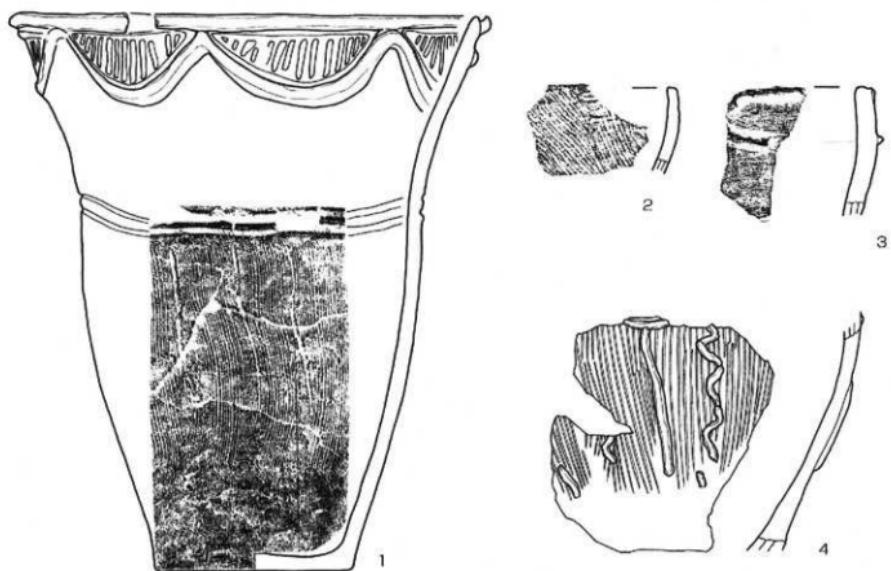
9号住居

第29図 8号住居・9号住居跡出土遺物

0 10cm

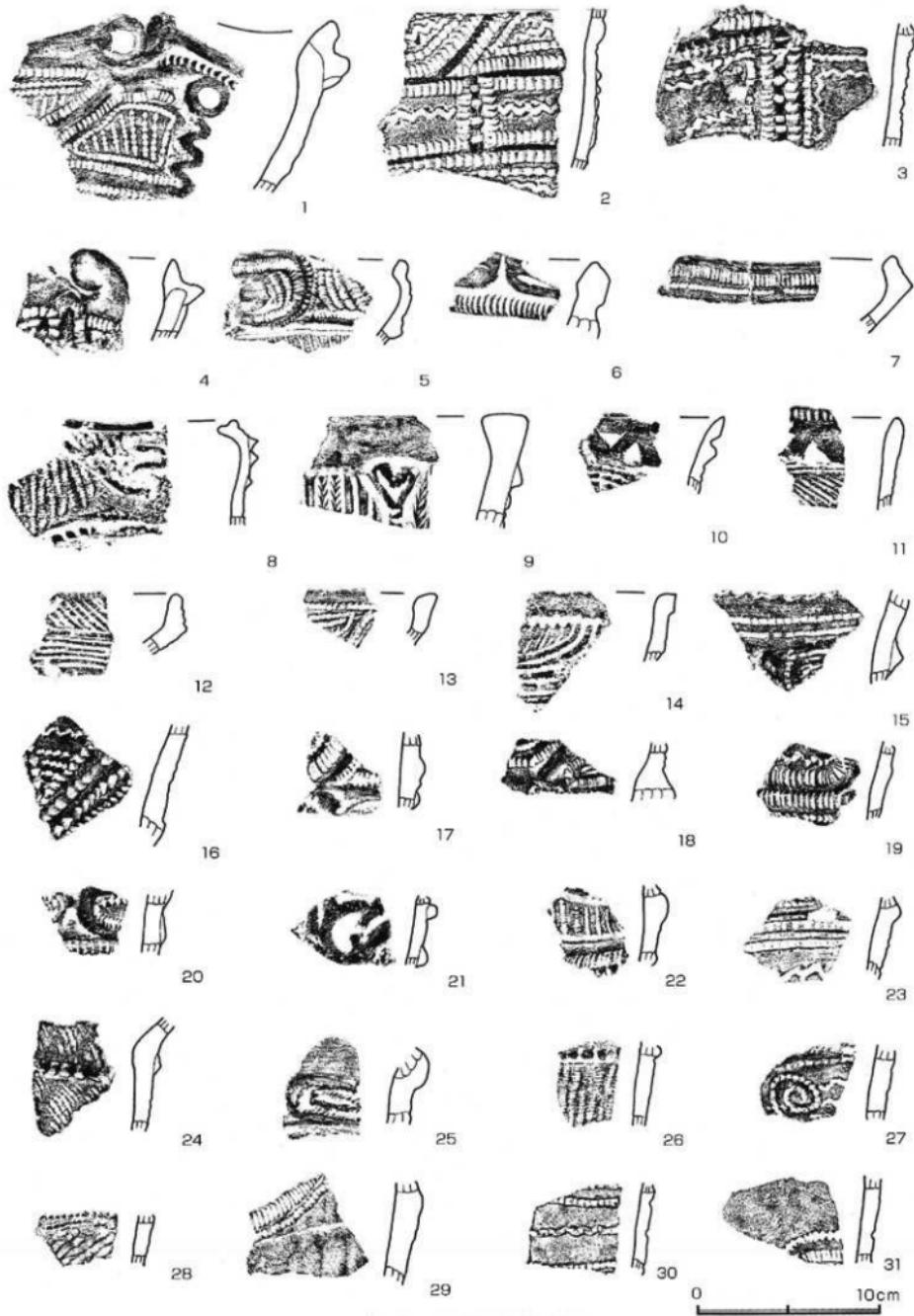


10号住居

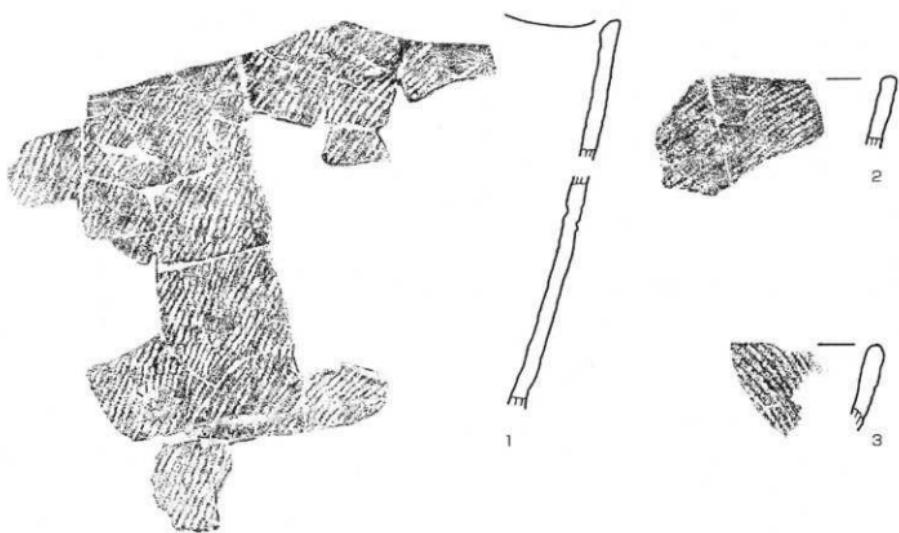


11号住居

第30図 10号住・11号住跡出土遺物

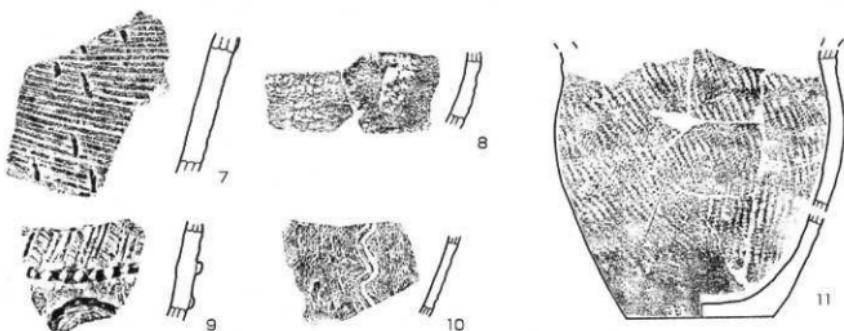
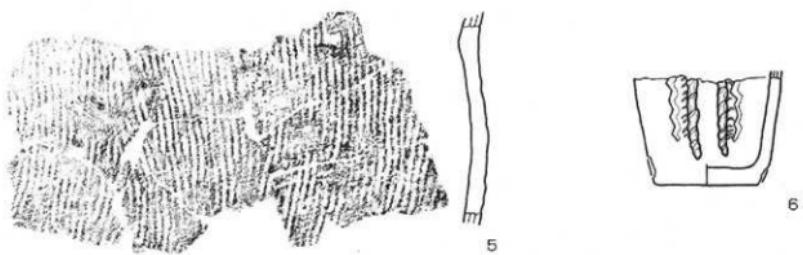
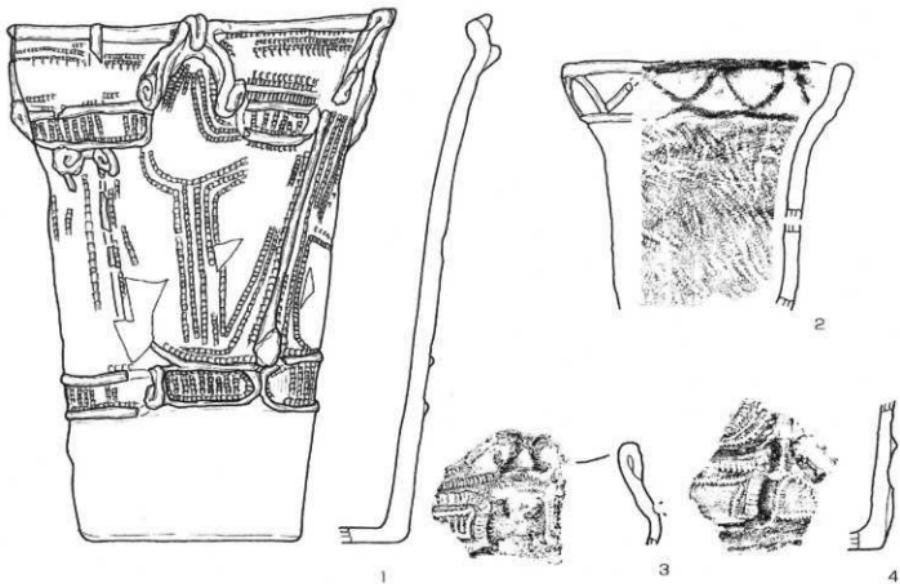


第31図 12号住居跡出土遺物



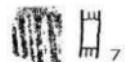
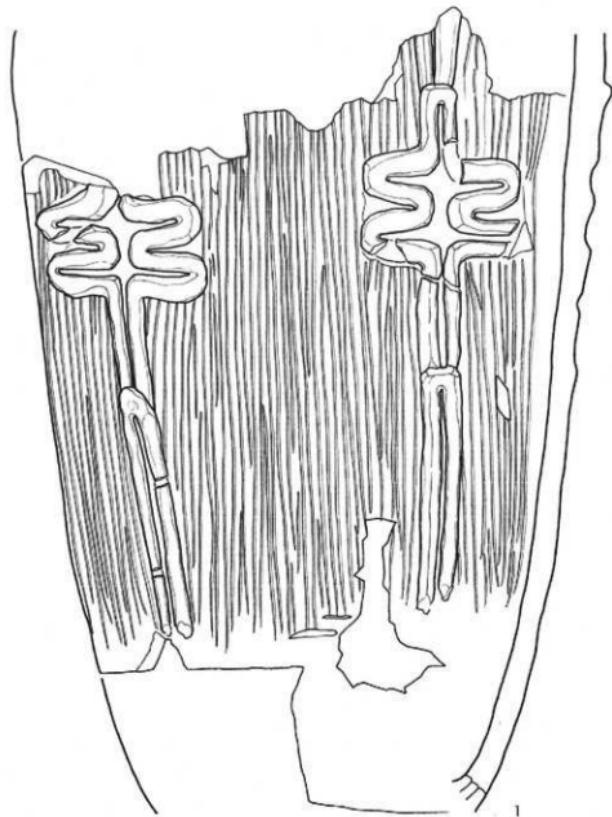
第32図 13号住居跡出土遺物

0 10cm



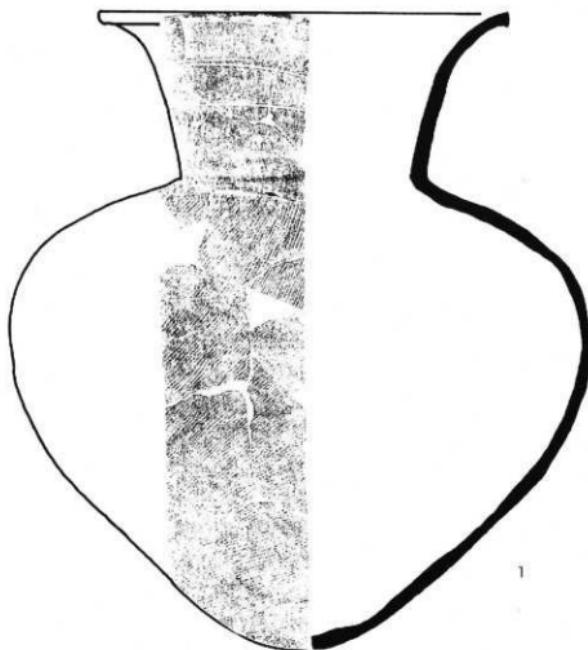
第33図 土坑出土遺物



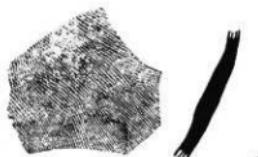


0 10cm

第34図 埋集



1

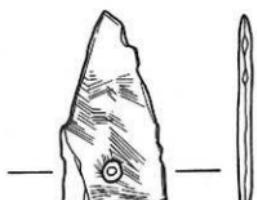


2



3

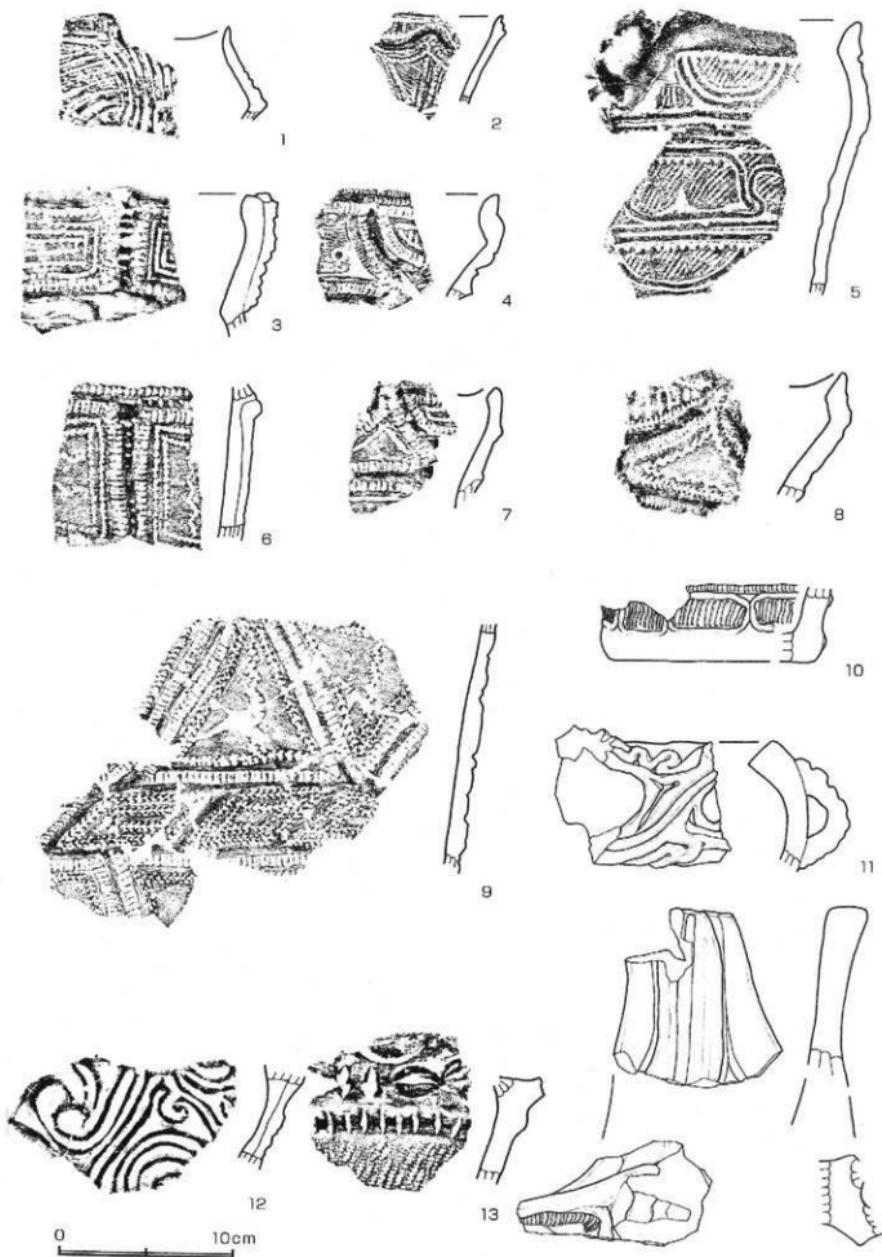
0 30cm



4

0 5cm

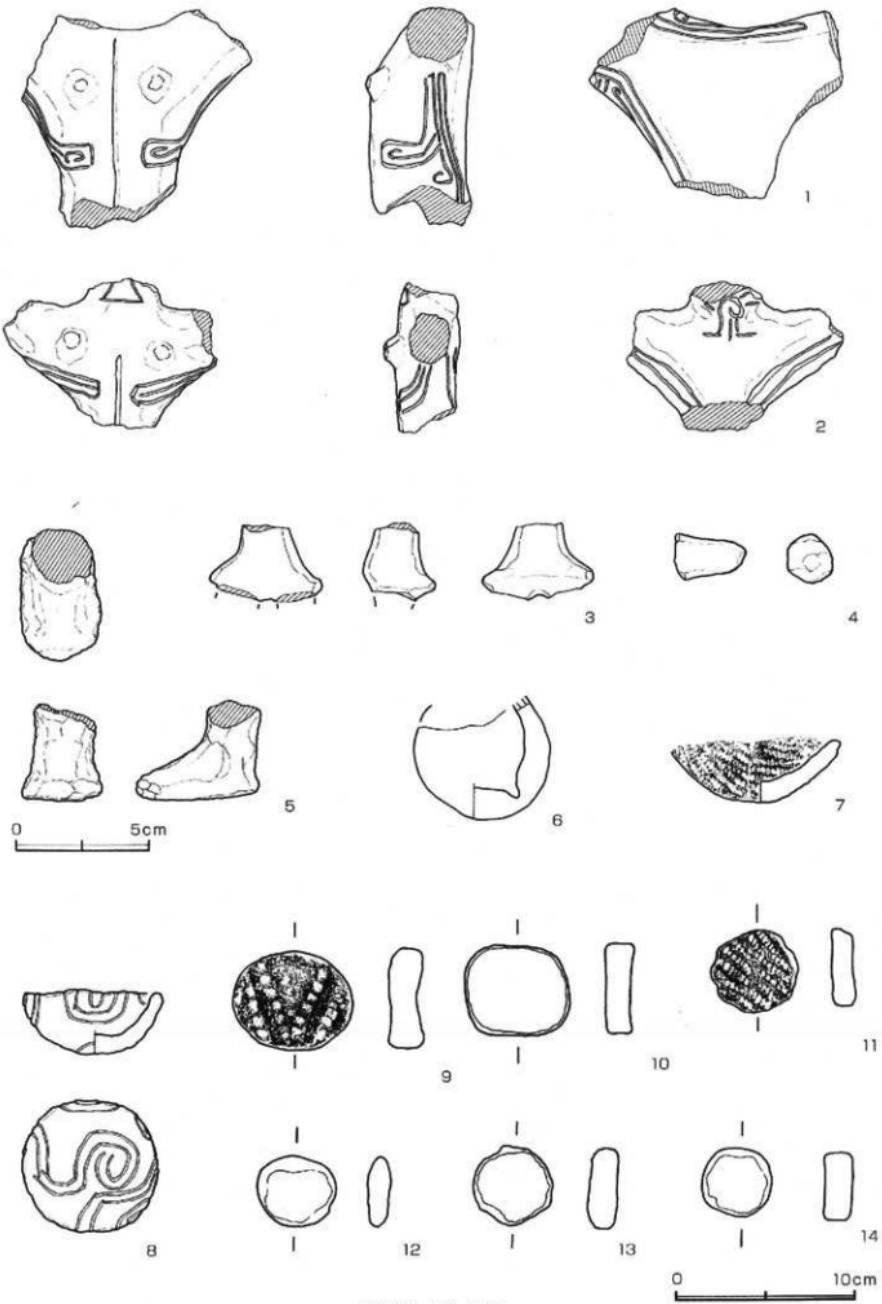
第35图 1号填出土遗物



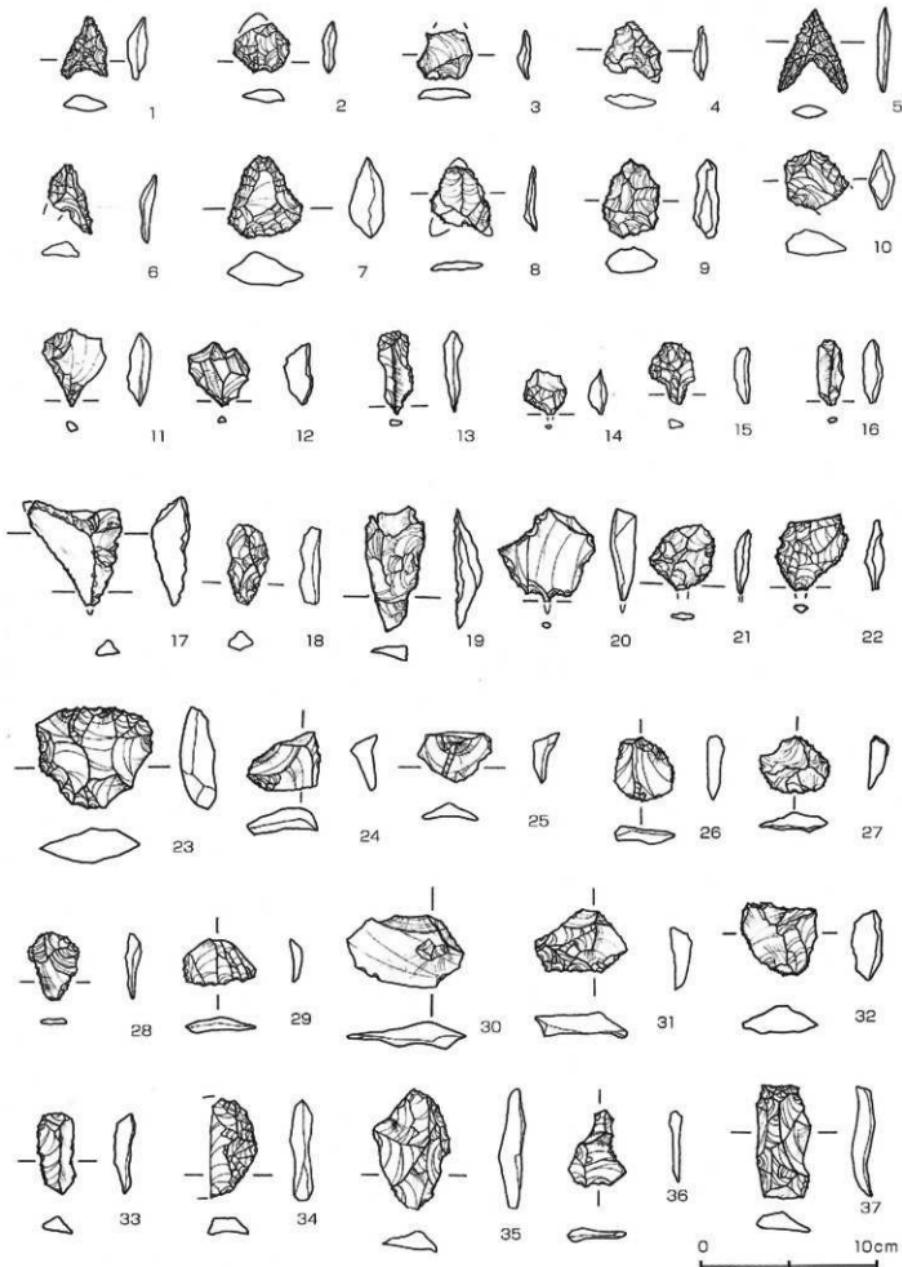
第36図 遺構外出土遺物



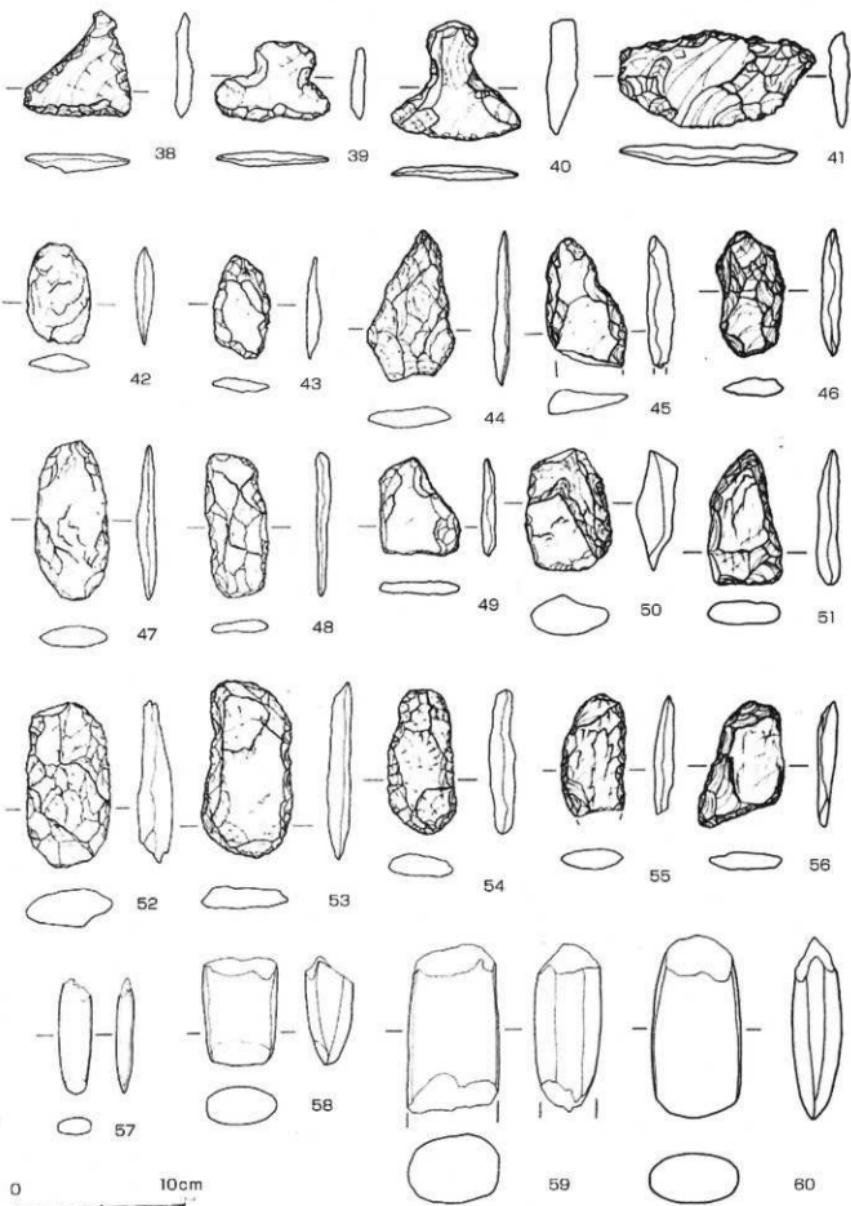
第37図 遷携外出土遺物



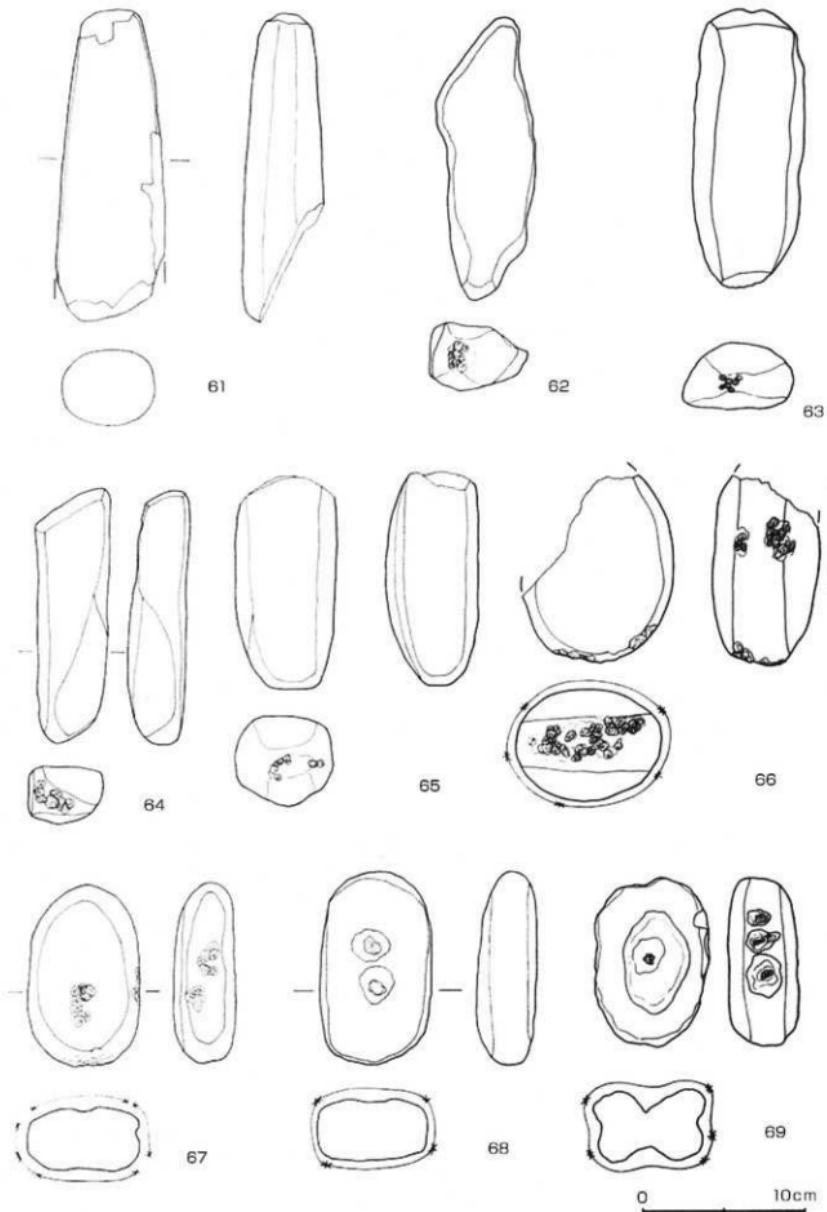
第38図 土器・土製品



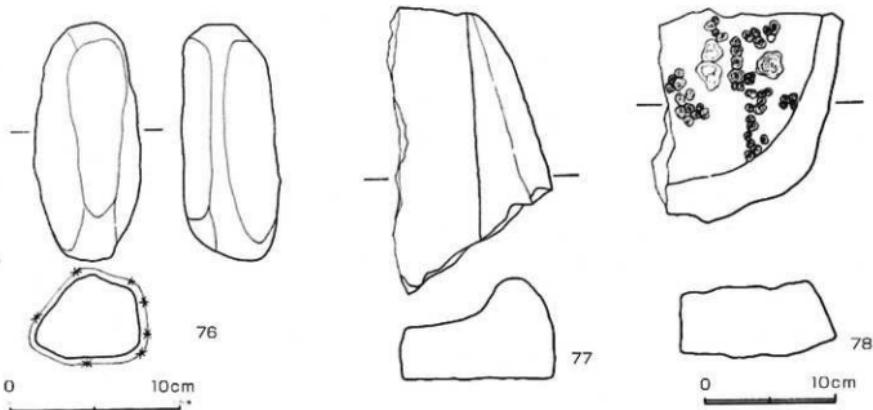
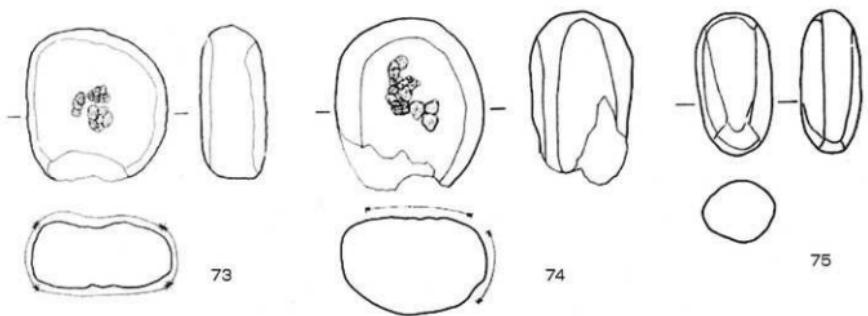
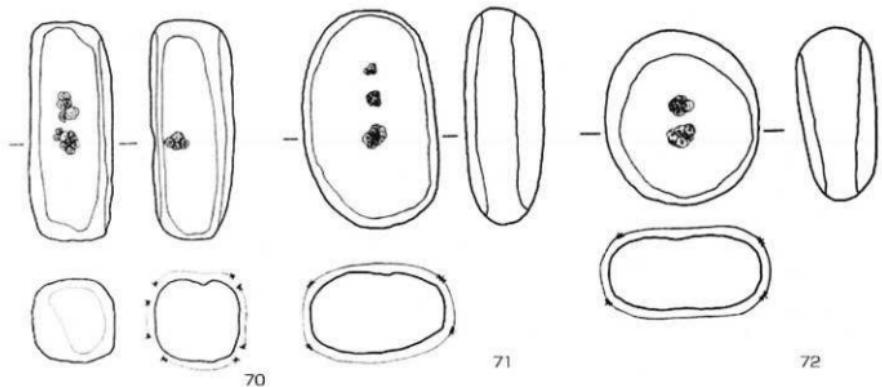
第39図 石器



第40図 石器



第41図 石器



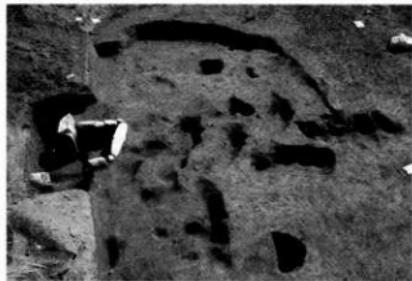
第42図 石器



1区完垂状况全景



2区完据状况全景



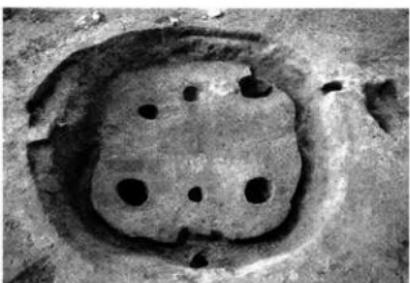
1区1号住居跡



1号住居跡炉跡



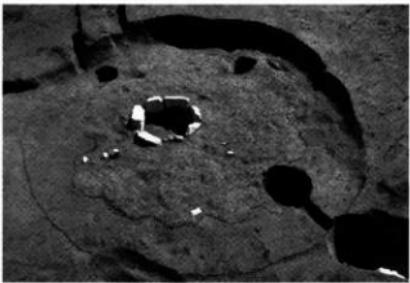
1区2号住居跡床面確認状況



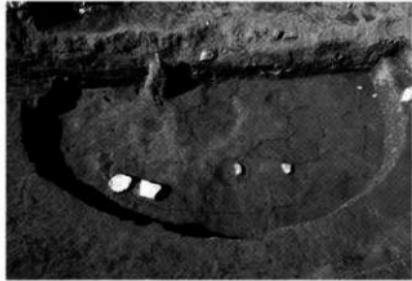
2号住居跡完掘状況



1区3号住居跡遺物出土状況



3号住居跡完掘状況



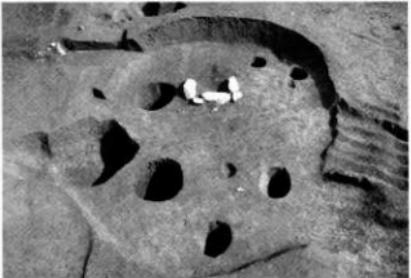
1区4号住居跡床面確認状況



4号住居跡完掘状況



1区5号住居跡遺物出土状況



5号住居跡完掘状況



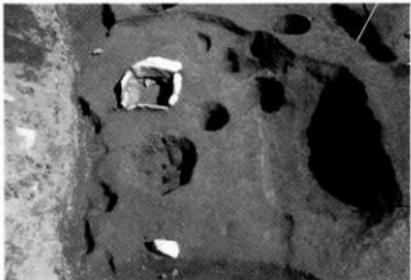
1区6号住居跡屋内型堀



6号住居跡完掘状況



1区7号住居跡炉跡



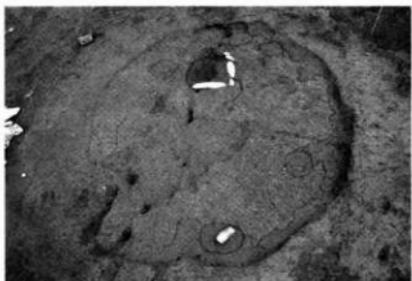
7号住居跡完掘状況



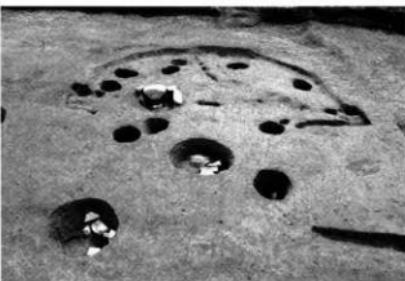
2区8号住居跡土層断面



8号住居跡完掘状況



2区9号住居跡床面棱出状況



2区9号住居跡完掘状況



2区10号住居跡床面棱出状況



10号住居跡完掘状況



1区11号住居跡屋内埋甕



11号住居跡全景



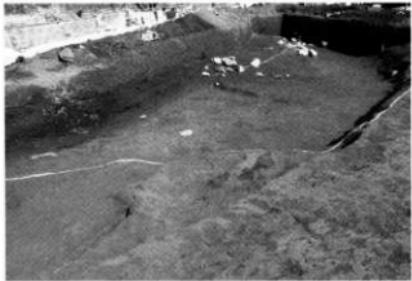
2区13号住居跡換出状況



2区13号住居跡完掘状況



2区1号古墳周溝断面



1号古墳全景



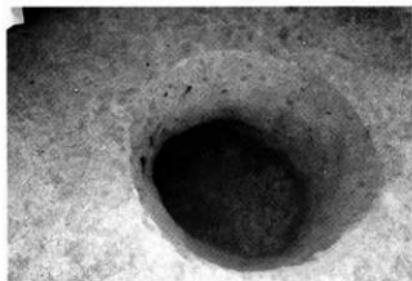
1号古墳全景(2)



1号古墳マウンド基底部



2区1号屋外埋葬施設断面



1号屋外埋葬施設土坑完掘



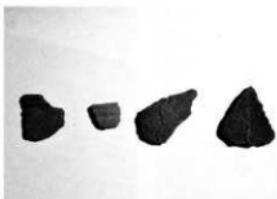
1区10号土坑遺物出土状況



1区14号土坑遺物出土状況



图-19 1号住居跡遺物



2号住居跡遺物



图-20 3号住居跡遺物



图-21 4号住居跡遺物

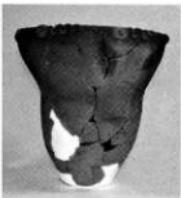


图-22~26 5号住居跡遺物



图-27 6号住居跡



图-28 7号住居跡



图-29 8号住居跡



图-30 9号住居跡



图-31 11号住居跡



图-32 12号住居跡遺物



图-33 13号住居跡遺物



图-33 14号土坑遺物

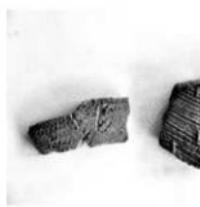
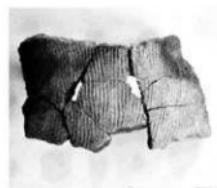


图-33 15号土坑遺物



图-36 遗構外出土遺物



图-37 遗構外出土遺物



图-38 土偶

图-34 1号埋藏

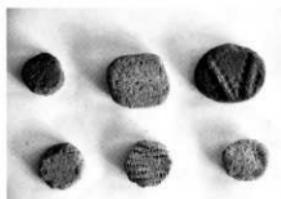


图-38 土制品

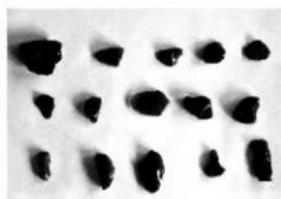


图-39 石器

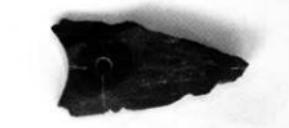


图-35 1号填沟沟遗物

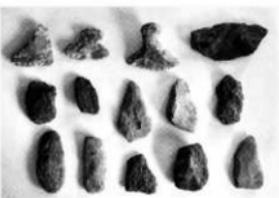


图-40 石器



图-41 石器

報告書抄録

ふりがな	いちのさわいせき
書名	一の沢遺跡(5次)
副書名	笛吹市境川地区浄・配水場建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ	笛吹市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第28集
編著者名	望月和幸
編集機関	笛吹市教育委員会
所在地	〒406-0031 山梨県笛吹市石和町市部809-1 Tel:055(261)3342
発行年月日	2013年3月31日

所収遺跡名	所在地	コード		測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
一の沢遺跡 (5次)	山梨県笛吹市 境川町小黒坂 494-1ほか	251	境川49	35° 35' 26'	138° 38' 3"	2009.1.13 ~ 2009.3.27	1500m ²	浄・配水場 建設
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
一の沢遺跡 (5次)	集落跡 古墳	縄文時代中期 古墳時代後期	竪穴住居跡12軒 古墳1基 土坑 屋外埋蔵		土器・石器・土偶			

The Report of
Archaeological Research of
ICHINOSAWA site (5th Survey)

Archaeological Survey Prior to the Construction
of the Water Supply Facility

March, 2013
FUEFUKI CITY
Fuefuki City Board of Education